

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。
転落防止を目的とした防護柵や、歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
- 塗装済・現場塗装仕上用の場合、年2～3回の水洗いをしてください。
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で水洗いしてください。
- 洗浄機での洗浄を行う場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してから行ってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり車の排気ガス等の高熱が直接当たらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので製品を破損、変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意**
- 本製品はパネル等に硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
硬質ポリスチレンフォーム材は無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
 - 搬入や施工時の運搬はカド打ちに注意して下さい。傷、へこみ、破損の原因になります。
 - 硬質ポリスチレンフォームは80℃以上になると変形する可能性があります。
高温の物や火気がない場所に保管してください。
 - 当社プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

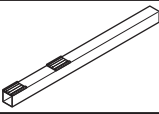
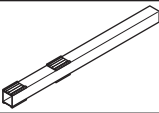
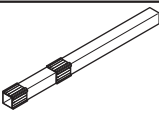
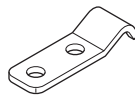
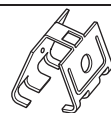
-  **警告**
- 本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
 - 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
-  **注意**
- 本製品の強度基準を超えた条件下での使用は避けてください。
 - 正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
 - 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。
必ず塗料は水性塗料、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。
 - 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品] オプション接着剤セット [当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤) コニシMPX-1
 - 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21
 - 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。
 - コーキング材は必ず変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。
 - 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
 - できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
 - 落したり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
 - 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
 - パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
 - 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
 - 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
 - 柱ピッチは、取説に合わせて施工してください。
 - 塗装済は吹き付け塗装仕上、現場塗装仕上用は下塗材（プライマー）塗装済、現場貼り仕上用は生地（プライマー未塗装）の状態で出荷されます。
 - 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

INDEX

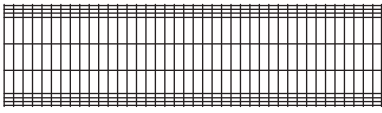
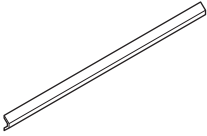
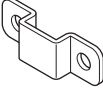
	〈塗装済〉	〈現場塗装仕上用〉	〈現場貼り仕上用〉
INDEX	1		
梱包明細表	2～6		
各部名称	7～9		
基本寸法図	10・11		
断面図(縦断面)	12		
納まり図	13		
1.柱建込み前の確認及び部材の組付	14		
1.端部柱・中間柱・角柱へのベース材取付部品の取付	14		
2.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合	14		
3.現場切詰めがある場合	14		
4.PS笠木上に貼り物をする場合の注意	14		
5.端部のパネルの加工	14		
6.コーナー部からの施工	14		
2.基礎工事	14～16		
1.基本寸法図	14・15		
2.柱の建込み	16		
3.基礎の打設	16		
3.本体の施工	17～19・22～25	17～29	17～28
1.ベース材取付部品の取付 (柱建込み前)	17	17	17
2.ベース材 BW18 (W20) の組付 (柱建込み時)	17	17	17
3.最下部パネルの組付	18	18	18
4.90° コーナー部のパネルの加工及び組付	19	19	19
5.フリーコーナー部 (鋭角60°～90°・鈍角90°～120°) の施工	—	20・21	20・21
6.横棧 BW18 (W20) の組付	22	22	22
7.パネル2段目以降の組付	23	23	23
8.横棧 B上 W18 (W20) の組付	24	24	24
9.PSコーナーカバー中間・下 (目地有・無) の貼付け	24	24	24
10.PS端部カバー上 (目地有・無)・PS端部カバー中間・下 (目地有・無) の貼付け	25	25	25
11.PS笠木 W10 (W08・W04) の加工及び貼付け	25	25～29	25～28
12.目地テープの貼付け (現場塗装仕上用の場合)	—	29	—
13.目地切り (目地有の場合)	—	29	—
4.本体現場切詰め200ピッチ	30・31		
1.柱位置の変更	30		
2.部品・部材の加工	30・31		
5.本体現場切詰め (フリー)	32～34		
1.柱位置の変更	32		
2.部品・部材の加工	32・33		
3.フリー切詰め部本体の組付	34		
6.部分的に塗装仕上をする場合	—	—	36
7.注意事項	—	—	36
8.F メッシュフェンスの取付	36・37		
1.Fメッシュフェンス本体の取付	36		
2.Fメッシュフェンス本体の連結 (直線継手の取付)	36		
3.V8板の取付	37		
9.F メッシュフェンスコーナー部の取付	38		
10.F メッシュフェンスの切詰め	38		

梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

■スマート・Fウォール+Fメッシュフェンス端部柱・中間柱・角柱(1本入)セット

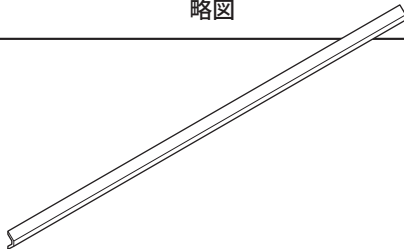
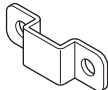
名称 部材・部品	略図	員数		
		端部柱	中間柱	角柱
端部柱		1	—	—
中間柱		—	1	—
角柱		—	—	1
仮掛け金具		1	1	2
押え金具		2	2	4
直線継手		—	2	—
φ4×13トラスドリルネジ		5	5	10
φ4×12丸先トラスネジ		—	2	—
取扱・取付説明書		1	—	—

■Fメッシュ本体(V80板付)

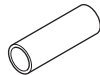
名称 部材・部品		略図	員数					
			V1型		V2型		V3型	
			T-6	T-8	T-6	T-8	T-6	T-8
メッシュ本体	T-6 (W1996×H540)		1	—	1	—	1	—
	T-8 (W1996×H720)		—	1	—	1	—	1
V80板 (W30×H80×L1995)			1	1	2	2	—	—
板押え金具			6	6	12	12	—	—
φ3.5×10トラスタッピングネジ			12	12	24	24	—	—

梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

V80板(オプション・追加部品)

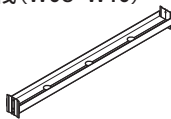
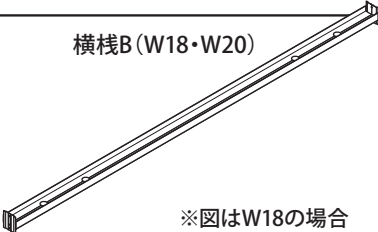
名称 部材・部品	略図	員数
V80板(W30×H80×L1995)		1
板押え金具		6
φ3.5×10トラスタッピングネジ		12

小口キャップ(オプション・追加部品)〈Fメッシュ本体の現場切詰め時に使用します。〉

名称 部材・部品	略図	員数
小口キャップ		18

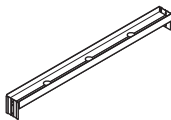
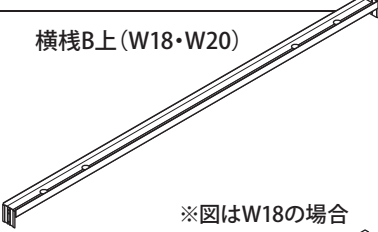
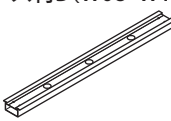
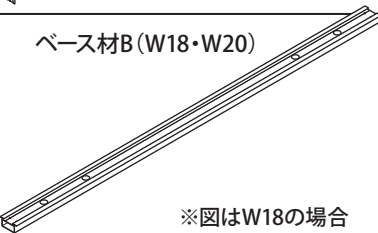
※片側切断の標準使用個数(T-6:10/T-8:11個)

横棧W08・横棧W10・横棧BW18・横棧BW20(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数			
		横棧		横棧B	
		W08	W10	W18	W20
横棧・横棧B	横棧(W08・W10)  ※図はW08の場合 横棧B(W18・W20)  ※図はW18の場合	1	1	1	1
φ4×13トラスドリルネジ		2			

横棧上・ベース材BW08・W10セット

横棧B上・ベース材BW18・W20セット

名称 部材・部品	略図	員数			
		横棧上・ベース材		横棧B上・ベース材B	
		W08	W10	W18	W20
横棧上・横棧B上	横棧上(W08・W10)  ※図はW08の場合 横棧B上(W18・W20)  ※図はW18の場合	1	1	1	1
ベース材B	ベース材B(W08・W10)  ※図はW08の場合 ベース材B(W18・W20)  ※図はW18の場合	1	1	1	1
ベース材取付部品		2			
φ4×13トラスドリルネジ		12(予備2)			

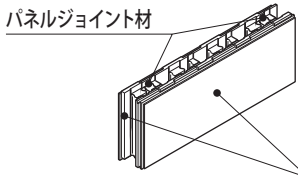
梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

■PSパネル 塗装済(目地有)W08(1セット入)セット

■PSパネル 現場塗装仕上用(目地有)W08(1セット入)セット

■PSパネル 現場貼り仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

■PSパネル 現場塗装仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
パネル 塗装済(目地有)W08 パネル 現場塗装仕上用(目地有)W08 パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08 パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08		2
パネルジョイント材		2

■PSパネル 塗装済(目地有)W04(1セット入)セット

■PSパネル 現場塗装仕上用(目地有)W04(1セット入)セット

■PSパネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

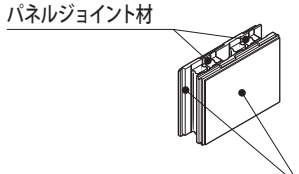
■PSパネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

■PSパネル 塗装済(目地有)W04(2セット入)セット

■PSパネル 現場塗装仕上用(目地有)W04(2セット入)セット

■PSパネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(2セット入)セット

■PSパネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(2セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		1セット入	2セット入
パネル 塗装済(目地有)W04 パネル 現場塗装仕上用(目地有)W04 パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04 パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04		2	4
パネルジョイント材		2	4

■PS笠木(マイティウッド組付用)
塗装済 W10セット

■PS笠木(マイティウッド組付用)
現場塗装仕上用 W10セット

■PS笠木(マイティウッド組付用)
現場貼り仕上用 W10セット

■PS笠木(A・C型共用)
塗装済 W08セット

■PS笠木(A・C型共用)
現場塗装仕上用 W08セット

■PS笠木(A・C型共用)
現場貼り仕上用 W08セット

■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
塗装済 W08セット

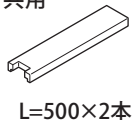
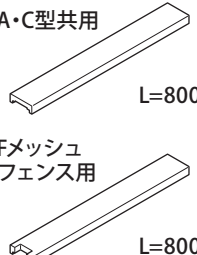
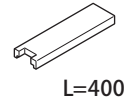
■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
現場塗装仕上用 W08セット

■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
現場貼り仕上用 W08セット

■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
塗装済 W04セット

■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
現場塗装仕上用 W04セット

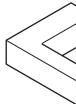
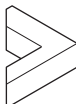
■PS笠木(Fメッシュフェンス用)
現場貼り仕上用 W04セット

名称 部材・部品	略図			員数
	W10	W08	W04	
PS笠木 W10・W08・W04(塗装済) PS笠木 W10・W08・W04(現場塗装仕上用) PS笠木 W10・W08・W04(現場貼り仕上用)				1 ※W10はL=500×2本

■PSコーナー笠木(マイティウッド組付用)
塗装済セット

■PSコーナー笠木(マイティウッド組付用)
現場塗装仕上用セット

■PSコーナー笠木(マイティウッド組付用)
現場貼り仕上用セット

名称 部材・部品	略図	員数
PSコーナー笠木A(マイティウッド用)(塗装済) PSコーナー笠木A(マイティウッド用)(現場塗装仕上用) PSコーナー笠木A(マイティウッド用)(現場貼り仕上用)		1
PSコーナー笠木B(マイティウッド用)(塗装済) PSコーナー笠木B(マイティウッド用)(現場塗装仕上用) PSコーナー笠木B(マイティウッド用)(現場貼り仕上用)		1

梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

■PS端部カバー中間・下 塗装済(目地有)(2個入)セット

■PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有)(2個入)セット

■PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(2個入)セット

■PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地無)(2個入)セット

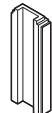
名称	略図	員数
部材・部品		
PS端部カバー中間・下 塗装済(目地有) PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有・無) PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)	 ※図は目地有の場合	2

■切詰め用PS端部カバー中間・下 塗装済(目地有)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地無)(1個入)セット

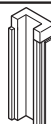
名称	略図	員数
部材・部品		
切詰め用PS端部カバー中間・下 塗装済(目地有) 切詰め用PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有・無) 切詰め用PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)	 ※図は目地有の場合	1

■PS端部カバー上(+マイティウッド用)塗装済(目地有)(1個入)セット

■PS端部カバー上(+マイティウッド用)現場塗装仕上用(目地有)(1個入)セット

■PS端部カバー上(+マイティウッド用)現場貼り仕上用(目地無)(1個入)セット

■PS端部カバー上(+マイティウッド用)現場塗装仕上用(目地無)(1個入)セット

名称	略図	員数
部材・部品		
PS端部カバー上(+マイティウッド用) 塗装済(目地有) PS端部カバー上(+マイティウッド用) 現場塗装仕上用(目地有・無) PS端部カバー上(+マイティウッド用) 現場貼り仕上用(目地無)	 ※図は目地有の場合	1

■切詰め用PS端部カバー上 塗装済(目地有)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー上 現場塗装仕上用(目地有)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー上 現場貼り仕上用(目地無)(1個入)セット

■切詰め用PS端部カバー上 現場塗装仕上用(目地無)(1個入)セット

名称	略図	員数
部材・部品		
切詰め用PS端部カバー上 塗装済(目地有) 切詰め用PS端部カバー上 現場塗装仕上用(目地有・無) 切詰め用PS端部カバー上 現場貼り仕上用(目地無)	 ※図は目地有の場合	1

■PSコーナーカバー中間・下 塗装済(目地有)(1個入)セット

■PSコーナーカバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有)(1個入)セット

■PSコーナーカバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(1個入)セット

■PSコーナーカバー中間・下 現場塗装仕上用(目地無)(1個入)セット

名称	略図	員数
部材・部品		
PS端部コーナーカバー中間・下 塗装済(目地有) PS端部コーナーカバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有・無) PS端部コーナーカバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)	 ※図は目地有の場合	1

梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

■接着剤セット

名称	略図	員数
部材・部品		
接着剤	 120ml	1

梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

■目地テープセット

名称	略図	員数
部材・部品		
目地テープ	 50mm×45m	1

■プライマー(100ml)・刷毛セット

名称	略図	員数
部材・部品		
プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

■プライマーセット(1Kg)

名称	略図	員数
部材・部品		
プライマー(1Kg)	 1Kg	1

■プライマーセット(10Kg)

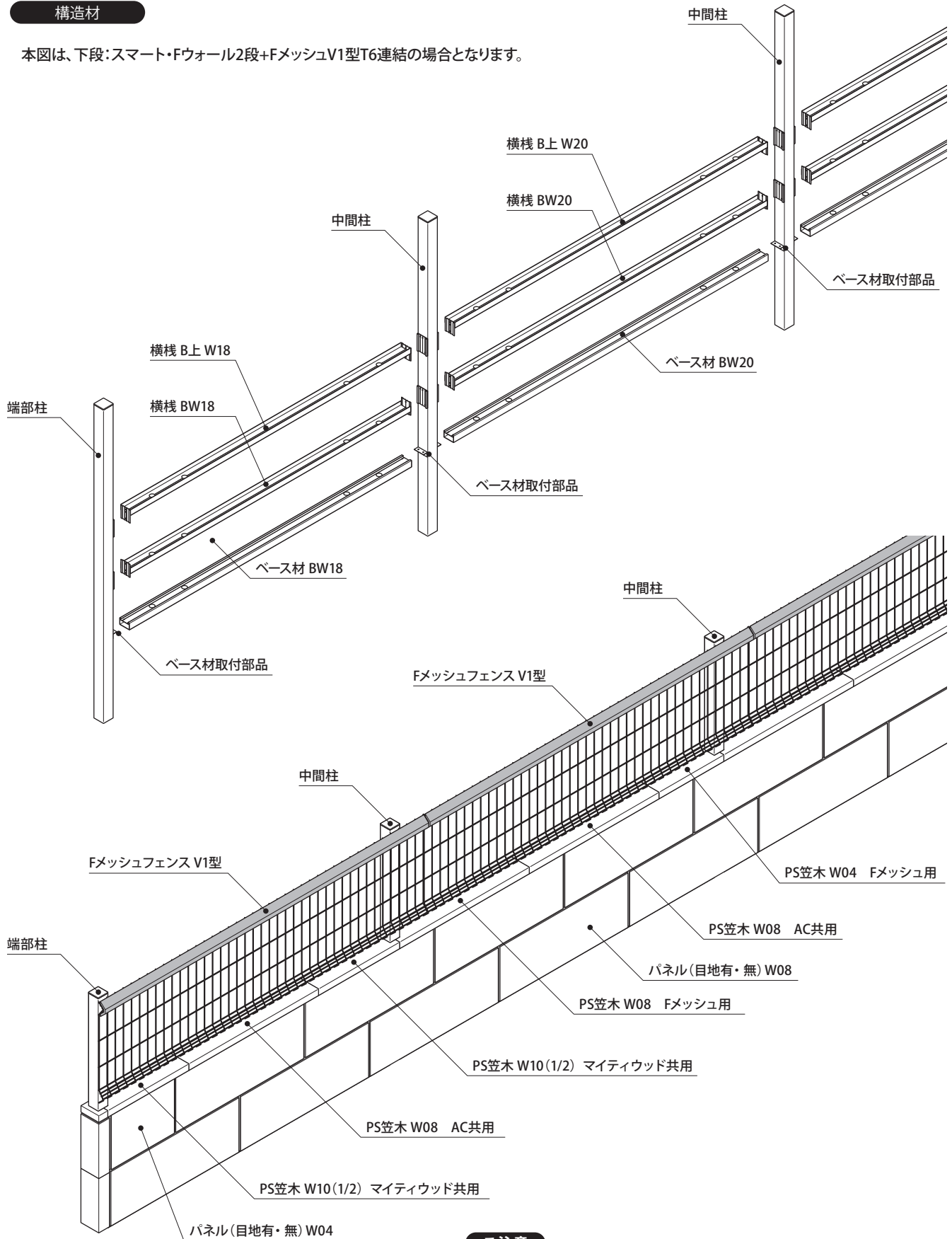
名称	略図	員数
部材・部品		
プライマー(10Kg)	 10Kg	1
取扱・取付説明書		1

各部名称〈塗装済・現場塗装仕上・現場貼り仕上共通〉

連結仕様

構造材

本図は、下段：スマート・Fウォール2段+FメッシュV1型T6連結の場合となります。



ご注意

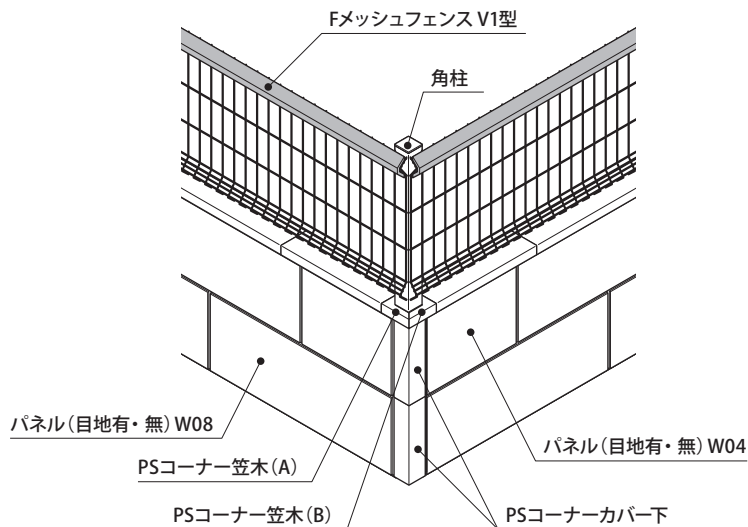
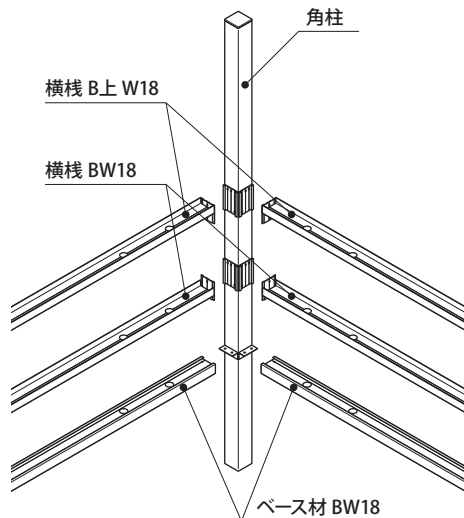
※パネルとFメッシュフェンスの端部は納まり寸法が異なります。
必要に応じてパネルもしくはFメッシュフェンスの現場切詰め加工を行ってください。パネルの切詰めはP.13・30～33、
Fメッシュフェンスの切詰めはP.38を参照してください。

各部名称〈塗装済・現場塗装仕上・現場貼り仕上〉

角柱(90°)仕様

構造材

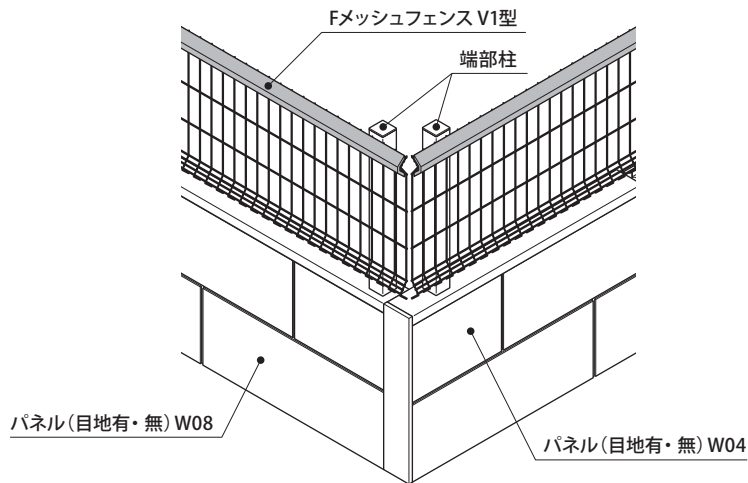
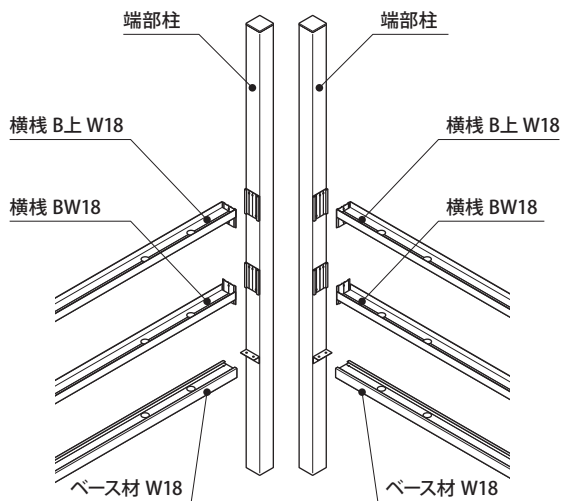
本図は、下段：スマート・Fウォール2段+FメッシュV1型T6の角柱(90°)納まりの場合となります。



フリーコーナー仕様

構造材

本図は、下段：スマート・Fウォール2段+FメッシュV1型T6のフリーコーナー納まりの場合となります。

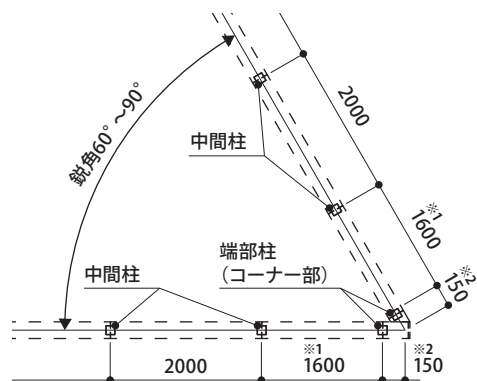


※コーナー部のパネルは切欠き加工が必要です。
詳細は P.19 を参照してください。

※コーナー部のパネルは切詰め加工が必要です。
詳細はP.21・22を参照してください。

●フリーコーナー部の柱位置

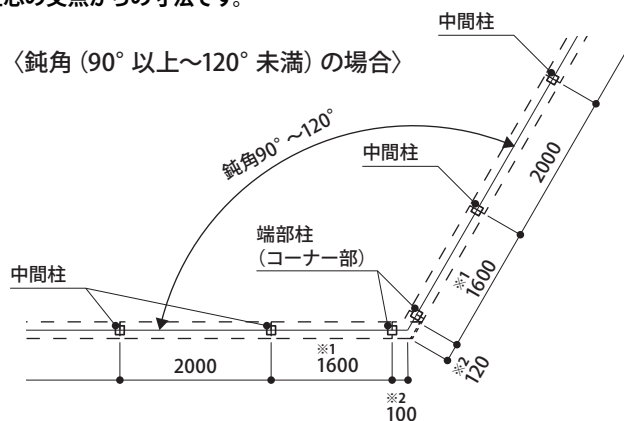
〈鋭角(60°以上～90°未満)の場合〉



●フリーコーナーの場合、コーナー部から施工してください。

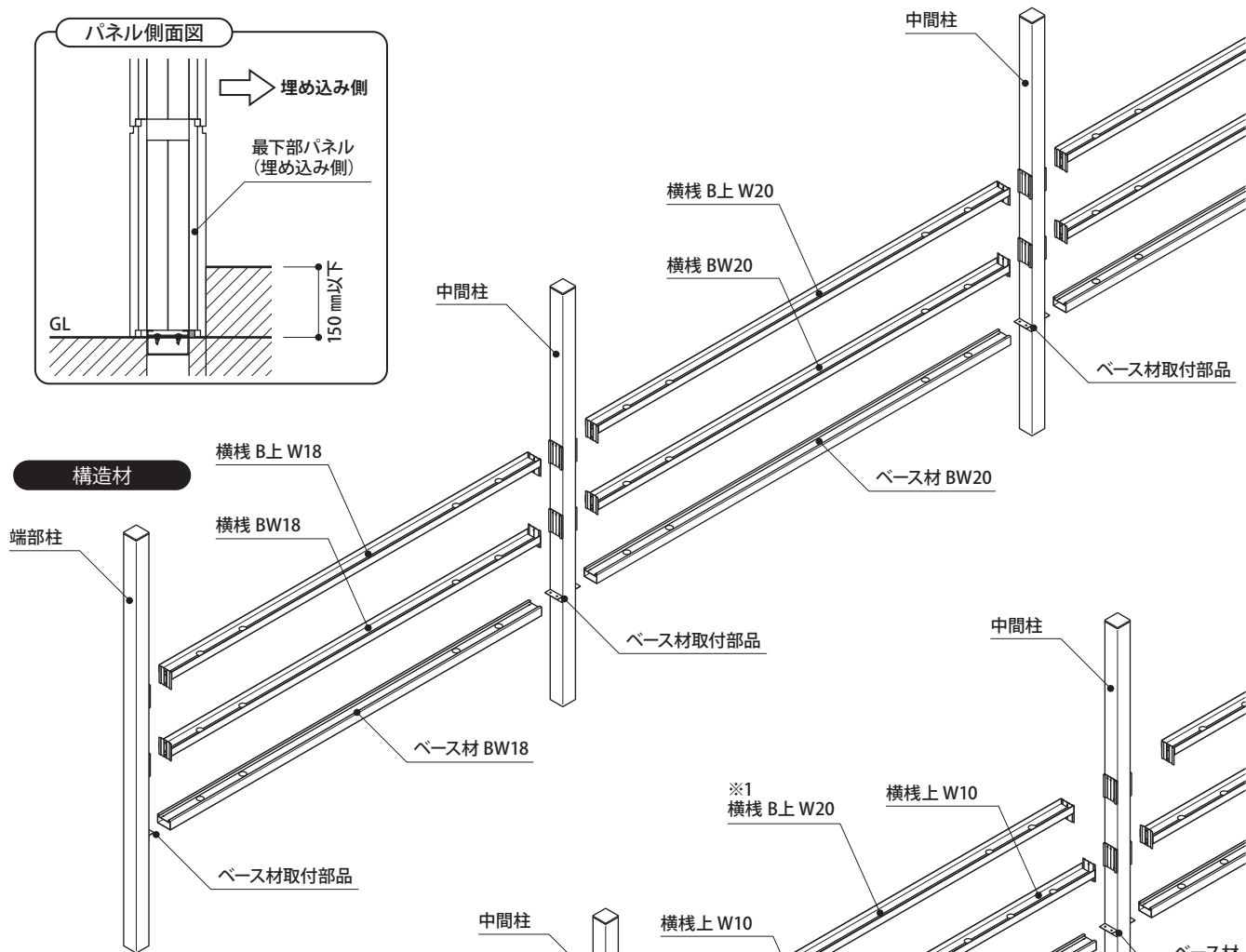
- ※1 フリーコーナー部の最初の柱ピッチは、1600mmにしてください。
- ※2 柱芯の交点からの寸法です。

〈鈍角(90°以上～120°未満)の場合〉

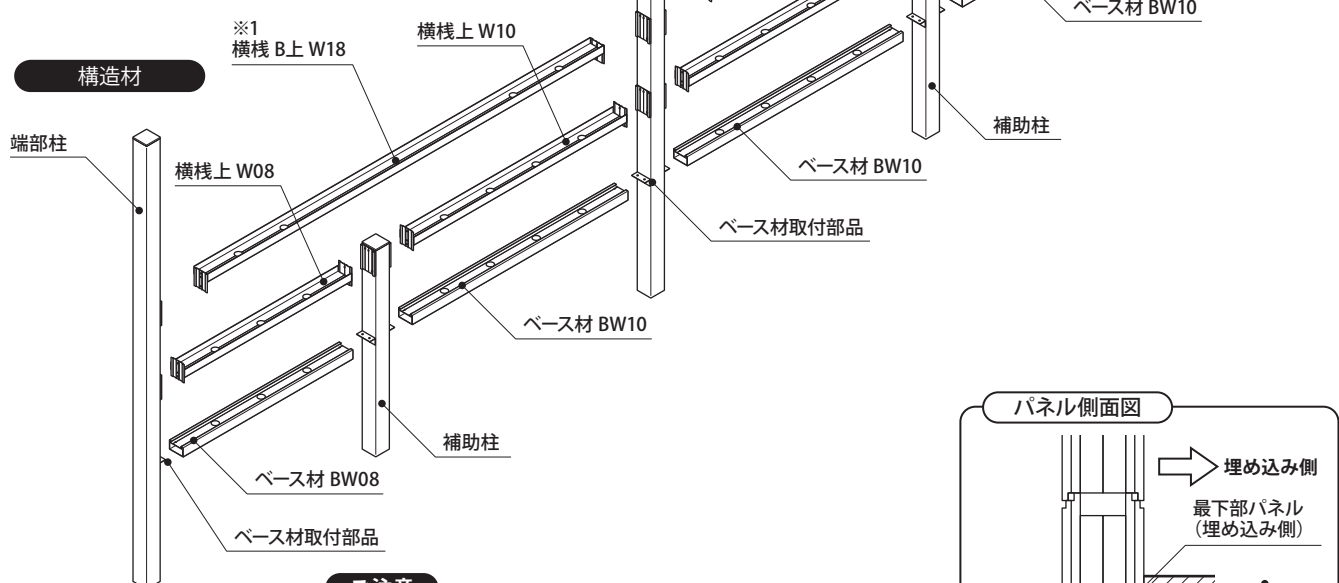


各部名称〈塗装済・現場塗装仕上・現場貼り仕上共通〉片側埋込み仕様

〈片側埋込み仕様〉(GLレベル差150mm以下の場合)



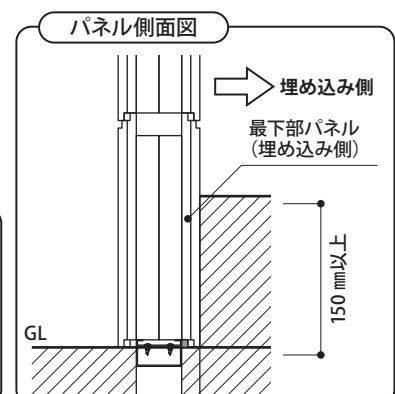
〈片側埋込み仕様〉
(GLレベル差150mm以上300mm以下の場合)



ご注意

※GLレベル差150mm以上300mm以下の場合は、補助柱が必要になります。補強柱セット同梱の取付説明書を参照に施工してください。

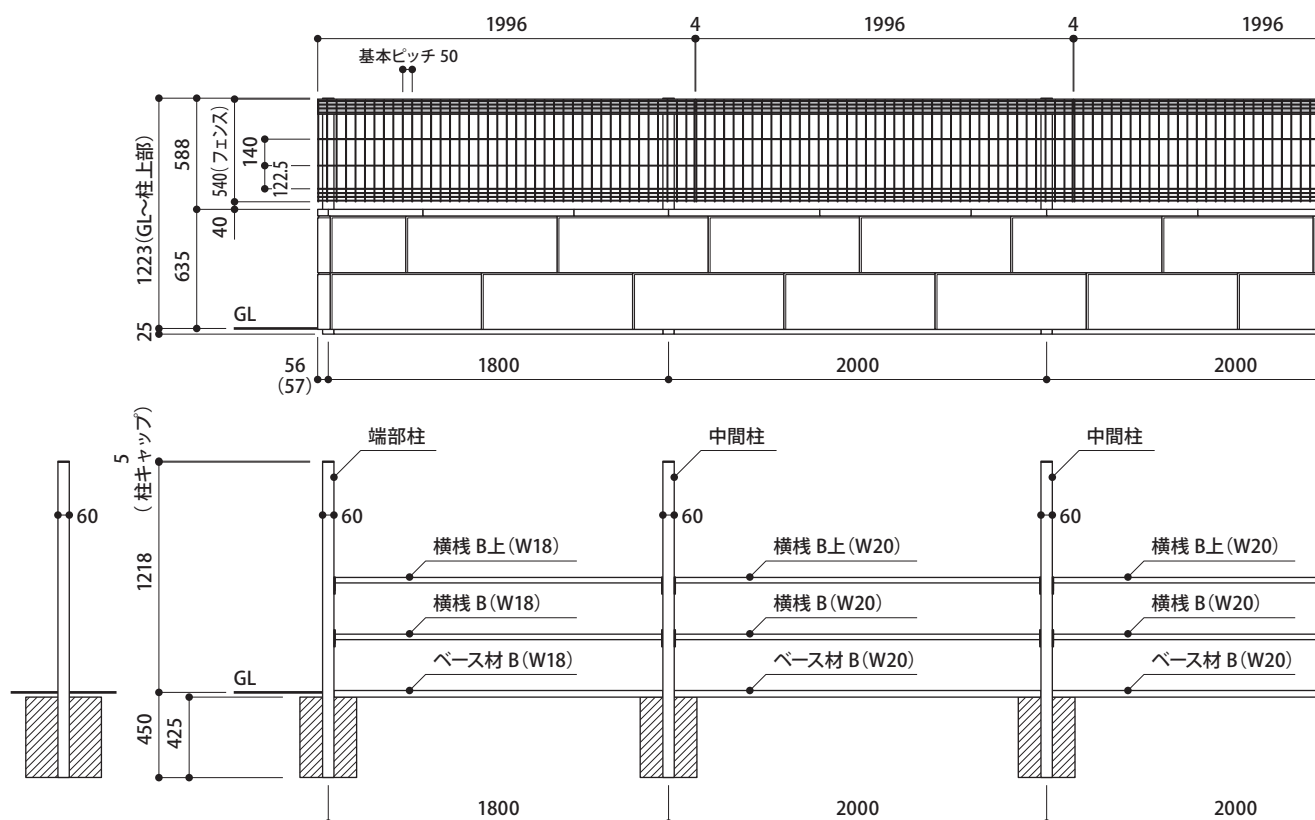
※1 補強柱セット同梱の取付説明書を参照に、横棧BW 18・20を横棧B上に組み替えて施工してください。



基本寸法図〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

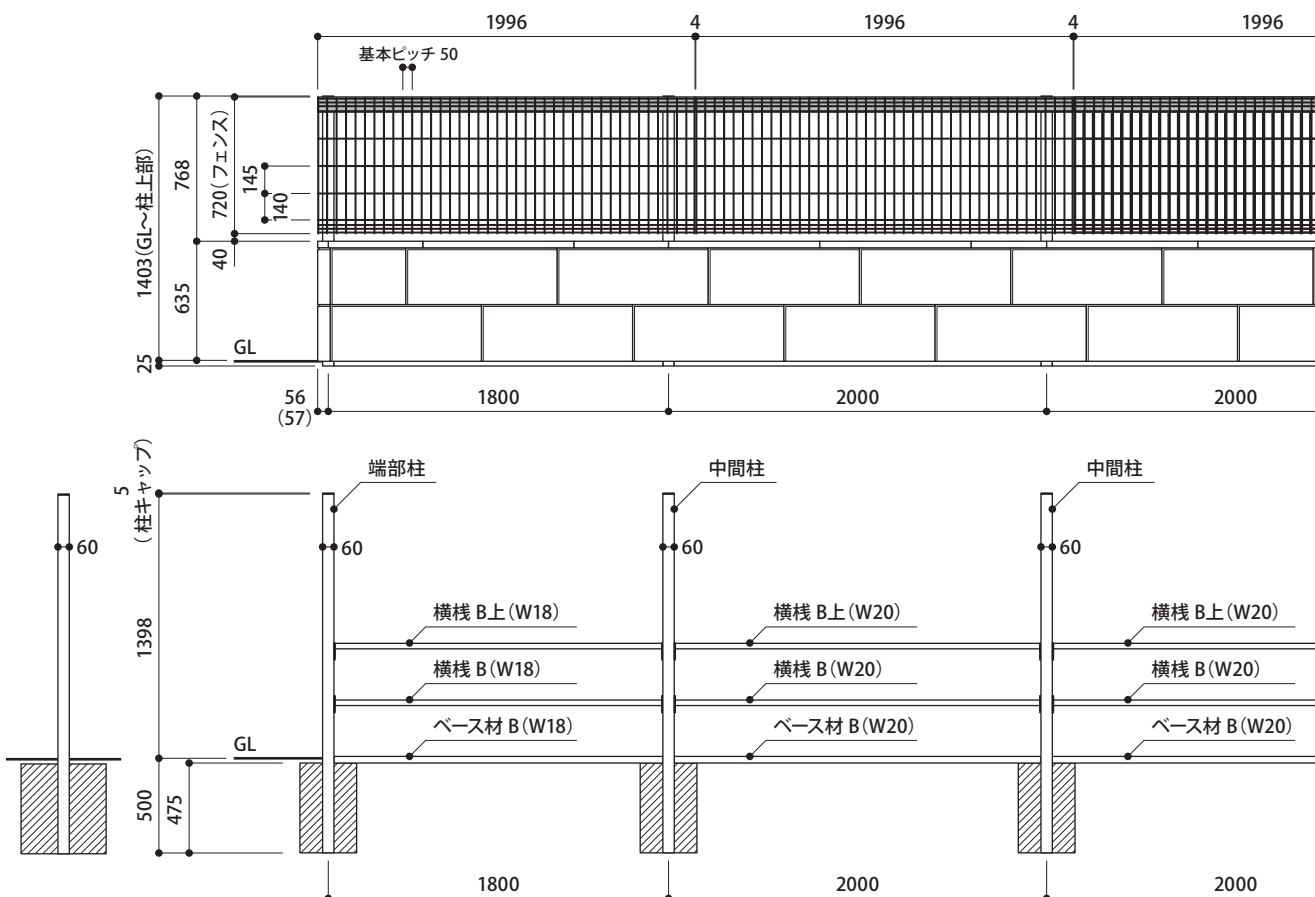
下段：S・Fウォール2段+上段：FメッシュフェンスT-6

() 寸法は塗装済の場合です。



下段：S・Fウォール2段+上段：FメッシュフェンスT-8

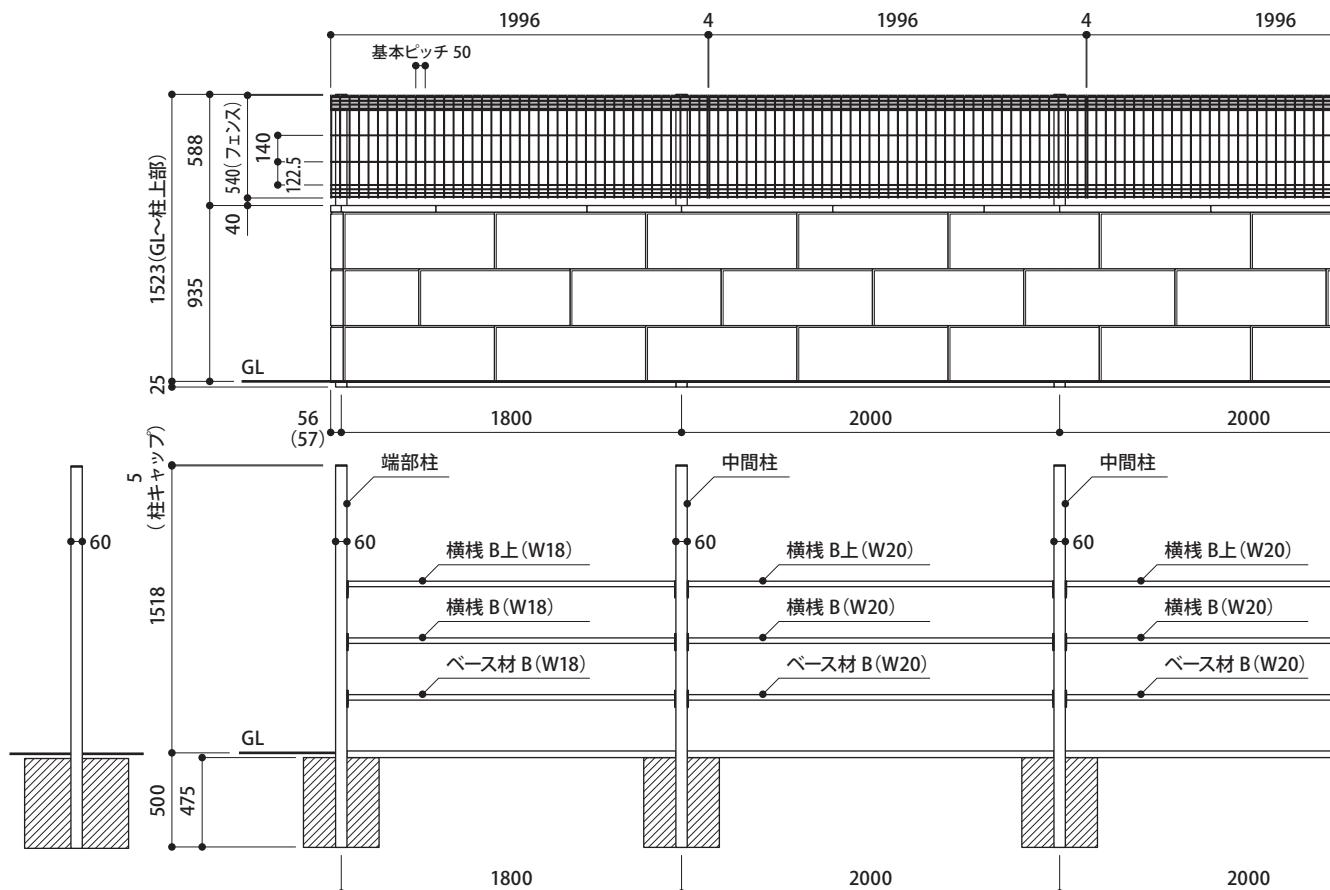
() 寸法は塗装済の場合です。



基本寸法図〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

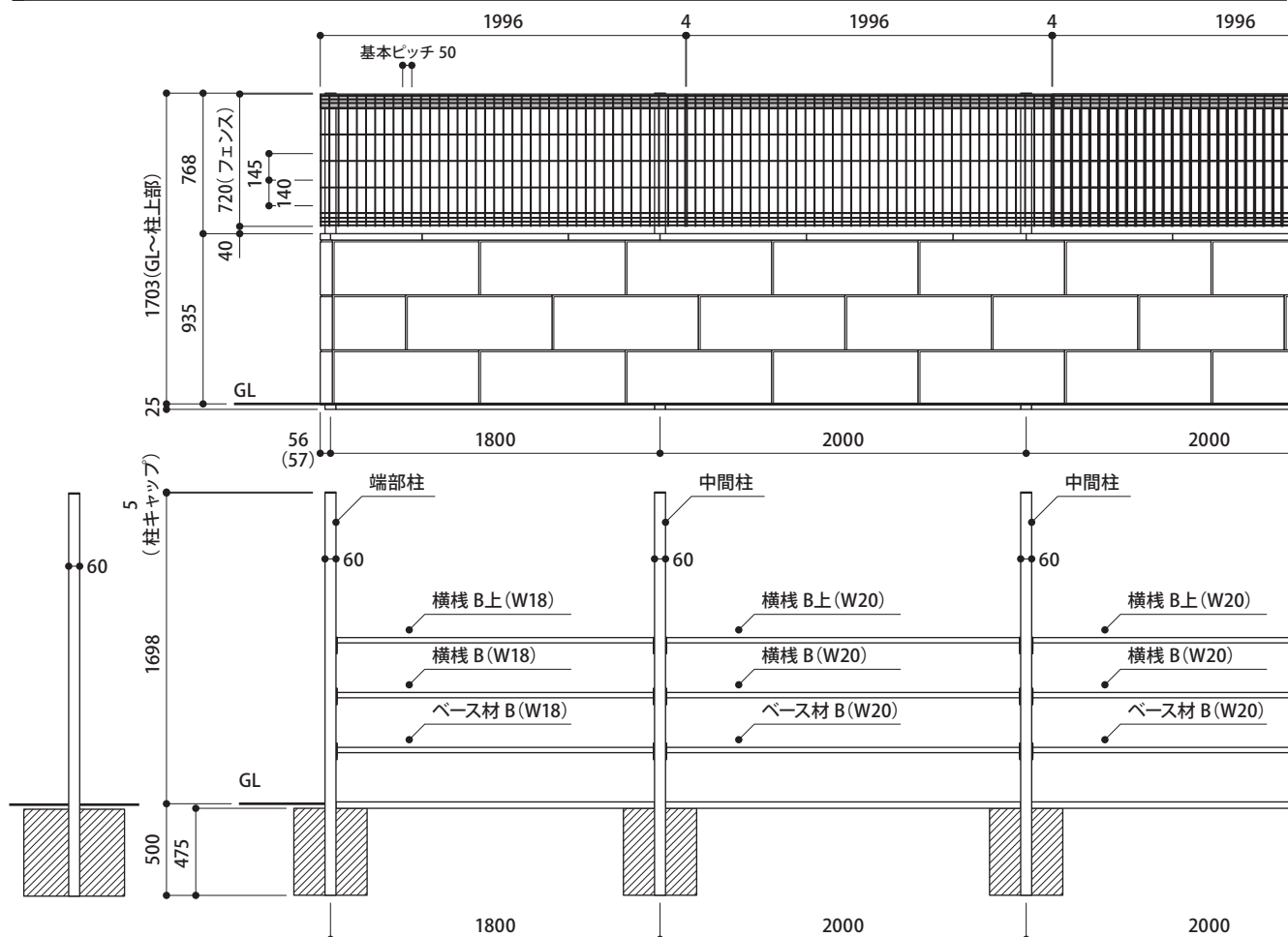
下段：S・Fウォール3段+上段：FメッシュフェンスT-6

() 寸法は塗装済の場合です。

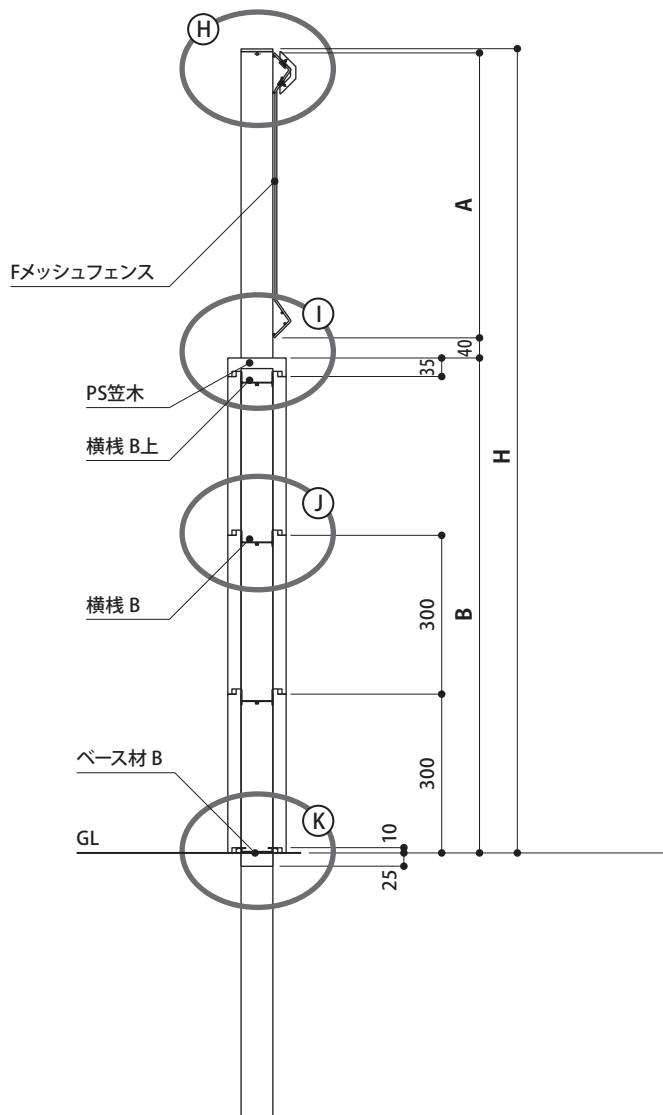


下段：S・Fウォール3段+上段：FメッシュフェンスT-8

() 寸法は塗装済の場合です。

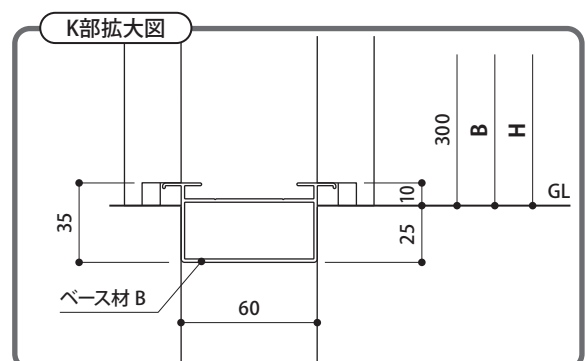
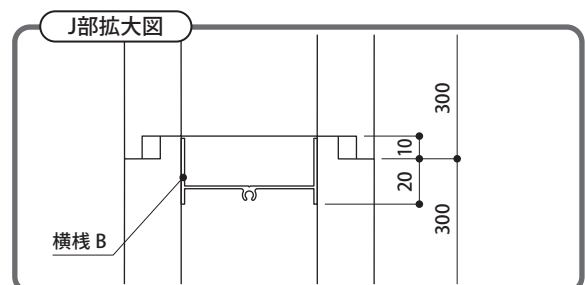
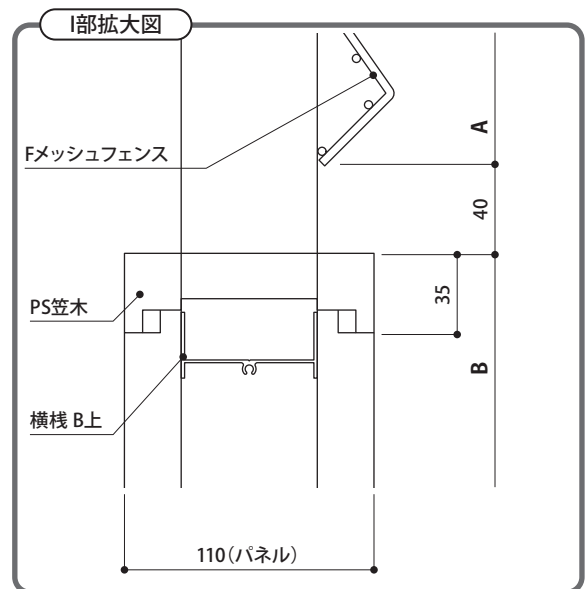
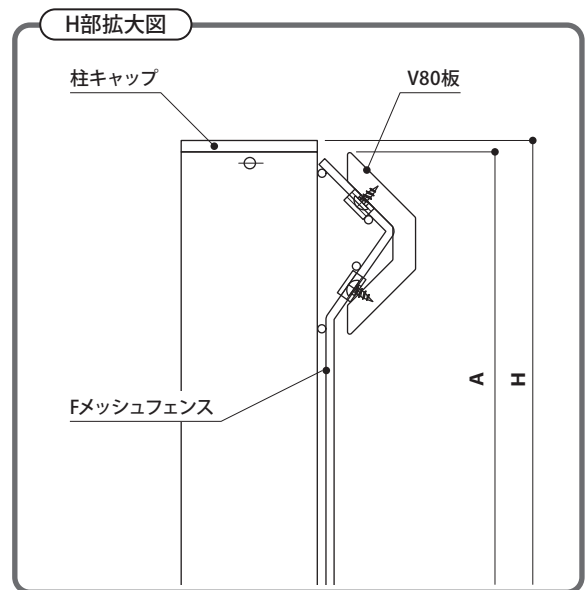


縦断面



本図は、下段SFW3段+上段FメッシュフェンスT-8の場合です。

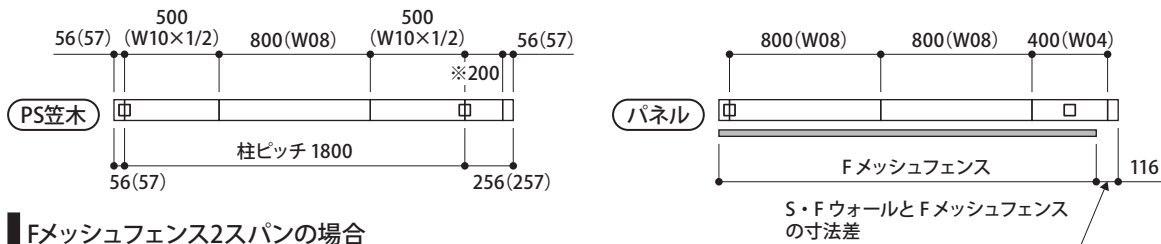
	A	B	H
下段 SFW2 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-6	540	635	1223
下段 SFW2 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-8	720	635	1403
下段 SFW3 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-6	540	935	1523
下段 SFW3 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-8	720	935	1703



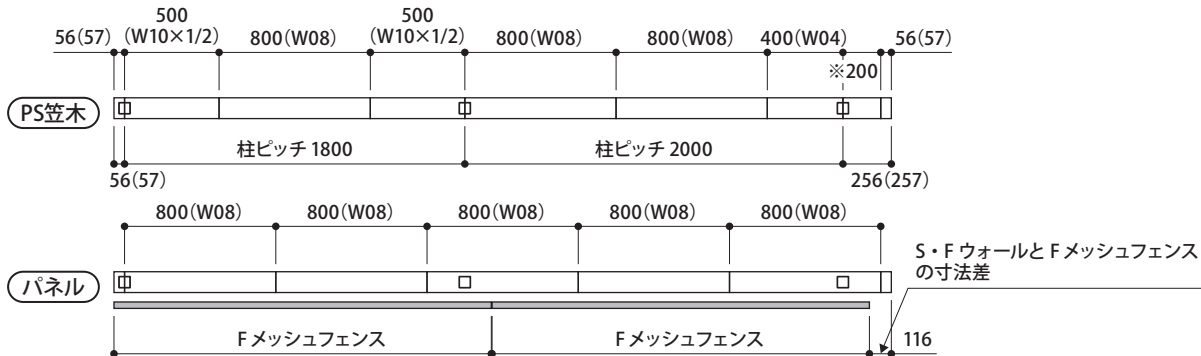
1.S・FウォールとFメッシュフェンスの納まり

- () 寸法は塗装済の場合です。
- ※200は、W04サイズを現場カット (P.31参照)

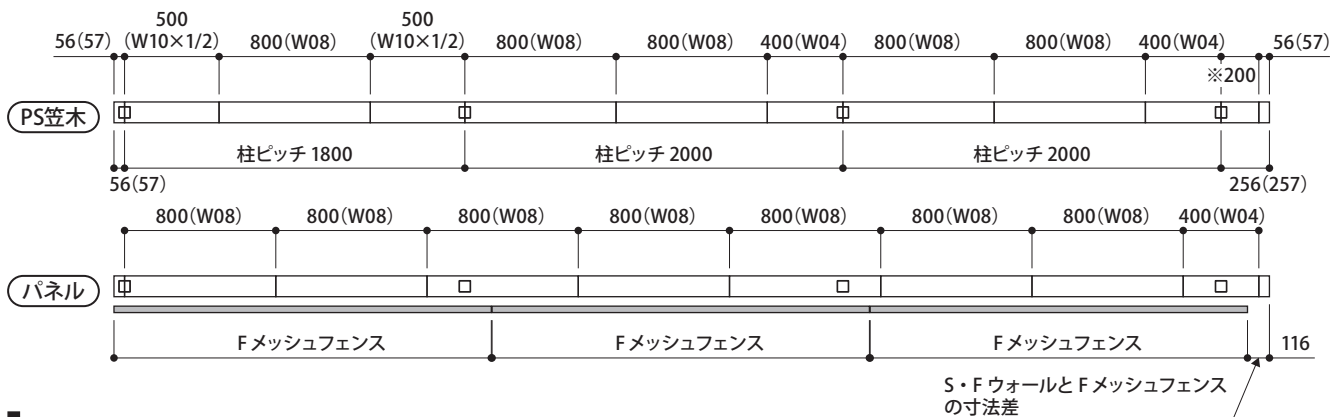
Fメッシュフェンス1スパンの場合



Fメッシュフェンス2スパンの場合



Fメッシュフェンス3スパンの場合



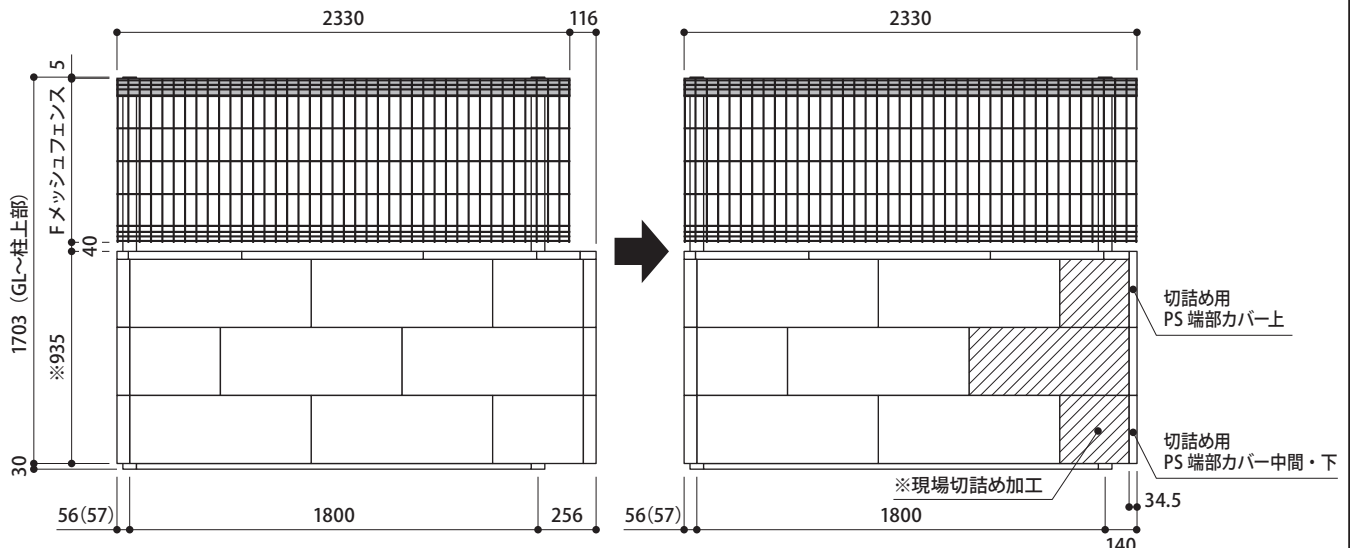
2.S・FウォールとFメッシュフェンスの納まりを揃える場合

下の図のように斜線部のパネルを現場切詰めに、S・FウォールとFメッシュフェンスの寸法を揃えてください。

端部カバーも切詰め用端部カバーに組み替えてください。(P.32～34参照)

※Fメッシュフェンス1スパンの場合を表示していますが、加工内容は2・3スパンの場合も同様です。

本図は、S・Fウォール&Fメッシュフェンス (下段:S・Fウォール3段+FメッシュフェンスV1型T6の場合) の場合となります。



1.柱建込み前の確認及び部材の組付〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

⚠ 注意 必ず柱建て込み前に下記を確認してください。

1.端部柱・中間柱・角柱へのベース材取付部品の取付

柱を建て込む前に、端部柱・中間柱・角柱にベース材BW18 (W20) を組み付けるためのベース材取付部品を取り付けてください。 **参 照** P.17

2.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合

補助柱が必要になりますので、補助柱セットに同梱されている取付説明書を参照して施工してください。

3.現場切詰めがある場合

P.30・32を参照にて柱の位置を決めてください。 **参 照** P.30・32

4.PS笠木上に貼り物をする場合の注意

Fメッシュフェンス取付け前に行ってください。Fメッシュフェンス取付け後では貼付けできない場合があります。又、この場合石材 (笠木) の厚さは25mm以下にしてください。

5.端部のパネルの加工

本体サイズにより端部のパネル (PS端部カバー含む) に加工が必要な場合があります。 **参 照** P.13・P.30～34

6.コーナー部からの施工

コーナー部がある場合、コーナー部から施工してください。

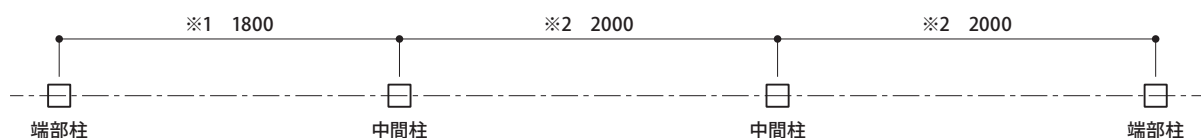
2.基礎工事〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.基本寸法図

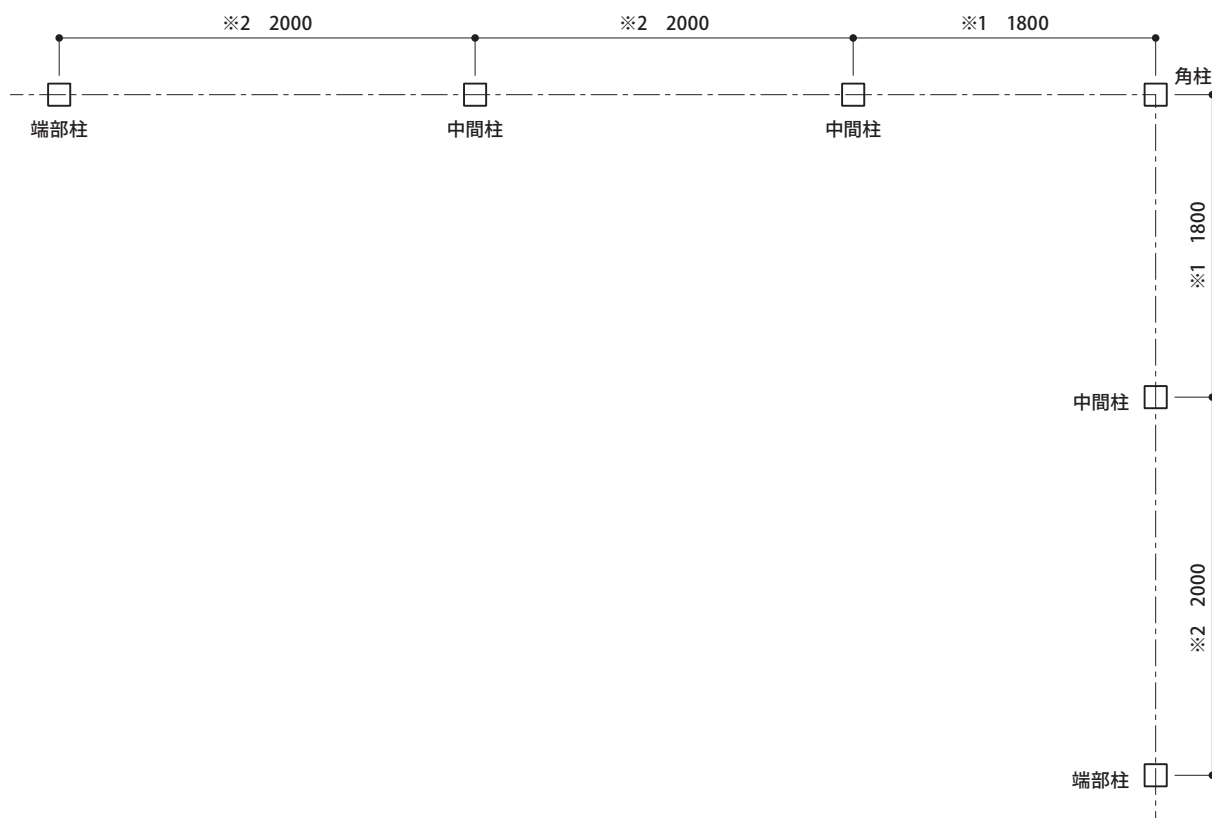
※1 端部及び、コーナー部の柱ピッチは1800mmになります。

※2 中間部の柱ピッチは2000mmになります。

直線部



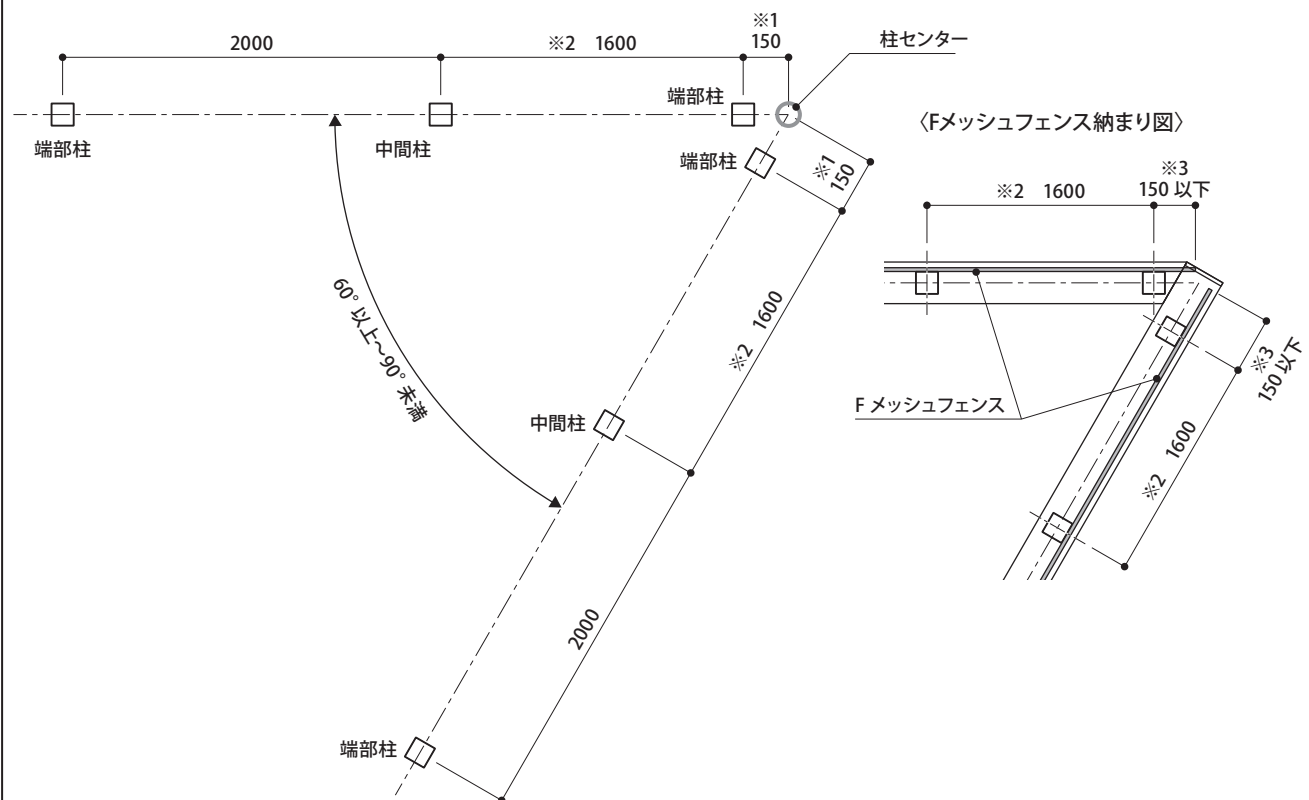
90° コーナー部



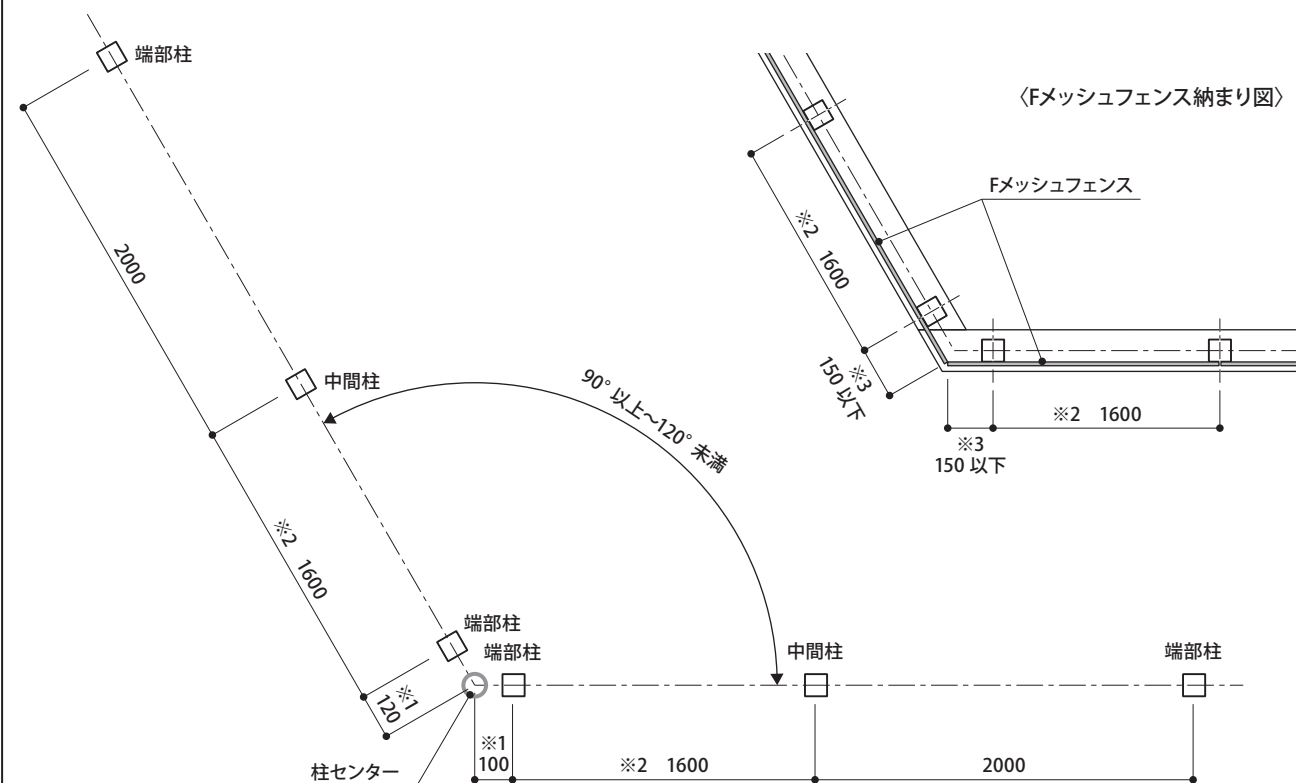
2.基礎工事〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ※1 柱センターの交点からの寸法です。
- ※2 フリーコーナー部の柱ピッチは1600mmとなります。
- ※3 Fメッシュフェンスの柱からの飛び出し寸法は、柱センターから150mm以下にしてください。

フリーコーナー部 (鋭角)



フリーコーナー部 (鈍角)

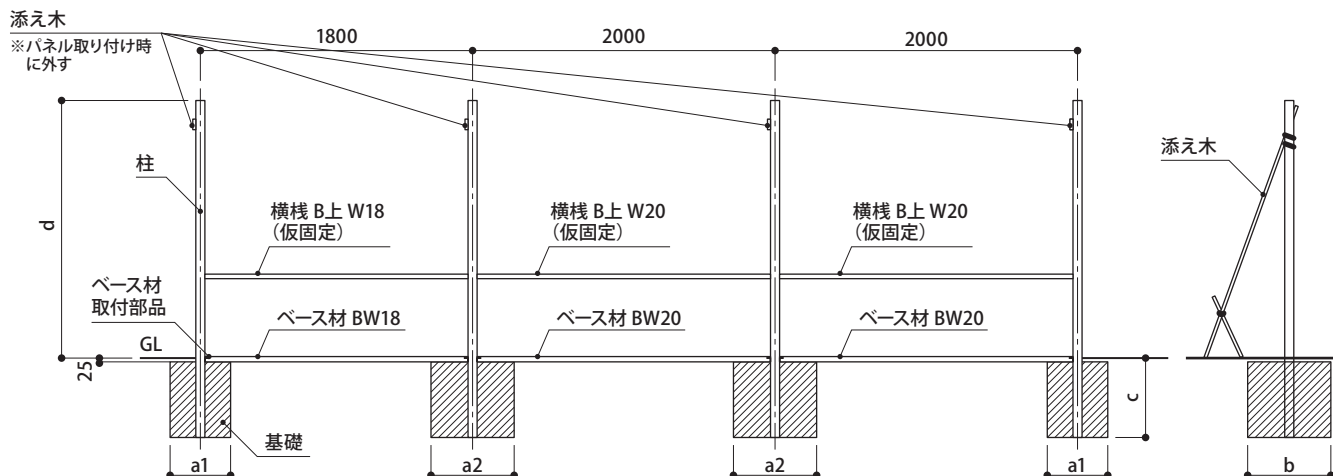


2.基礎工事〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

2.柱の建込み 参照 P.10・11 基本寸法図

- 柱の建て込みと同時にベース材BW18(W20)を組み付けて、柱ピッチ(1800mm・2000mm)出しを必ず行ってください。この時、柱上部の横棧取付金具(P.22参照)に横棧B上W18(W20)を取り付ける(仮固定)と柱の水平・ピッチ出しがしやすくなります。(下図参照)
 - 柱は添え木等で柱上部を保持して固定してください。柱の基礎がある程度固まったら順次パネルと横棧BW18(W20)を組み付けてください。その際に仮固定の横棧B上W18(W20)は組み直してください。上部パネル組み付け時に添え木を外してください。(下図参照)
 - 切詰めがある場合は、切詰め寸法により柱の位置が変わります。P.30～34を参照してください。
 - フリーコーナー部がある場合、柱の位置が変わります。P.20を参照してください。
- また、コーナー部より施工してください。

⚠ 注意 ●柱・ベース材BW18(W20)の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。
●柱のピッチが出ていないと、パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。



3.基礎の打設

- 柱の建て込み後、下記寸法にて基礎を打設してください。
- 現場貼り仕上用の場合、石材・タイル貼付け重量55kg/m²以下となります。

■基礎寸法

高さ寸法 (呼称)	基礎の大きさ			柱高さ
	端部柱 a1×b	中間柱 a2×b	c	
下段 SFW2 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-6	300×400	400×400	450	1223
下段 SFW2 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-8	300×450	450×450	500	1403
下段 SFW3 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-6	400×550	550×550	500	1523
下段 SFW3 段 + 上段 Fメッシュフェンス T-8	400×550	550×550	500	1703

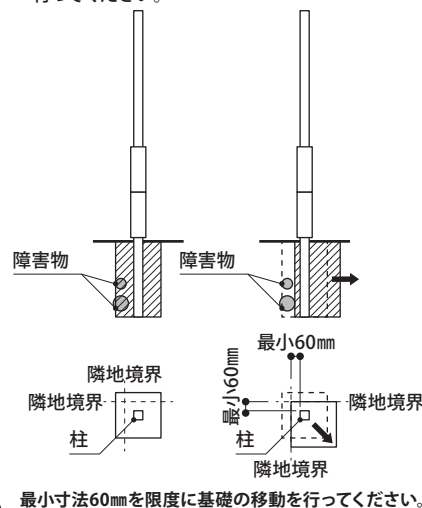
※d寸法は、柱キャップを含んだ寸法です。

⚠ 注意

- 基礎打設前に必ず柱とベース材BW18(W20)は組み付けておいてください。打設後はベース材BW18(W20)は取り付けできません。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。
- 基礎石による施工は避け独立基礎施工としてください。

●基礎偏芯の場合

障害物や隣地境界線により基礎の位置を変更する場合は、下図を参考に偏芯基礎の工事を行ってください。



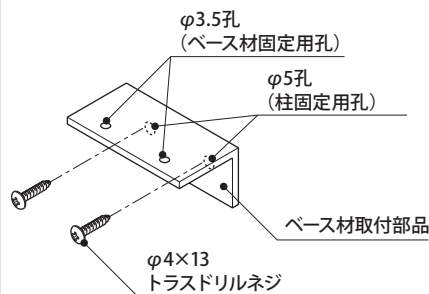
3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.ベース材取付部品の取付（柱建込み前）

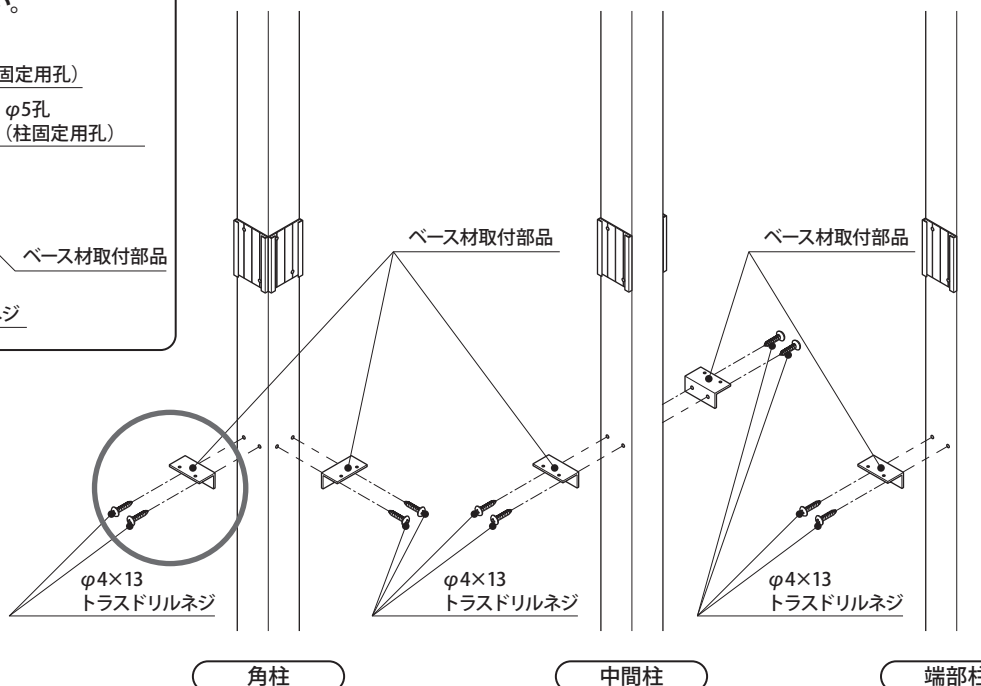
- ①柱にベース材取付部品のφ5孔に、φ4×13トラスドリルネジで取り付けます。
※ベース材取付部品…端部柱の場合は片側、中間柱・角柱の場合は両側に組み付けてください。

ご注意

ベース材取付部品の向きに注意して柱に取り付けてください。



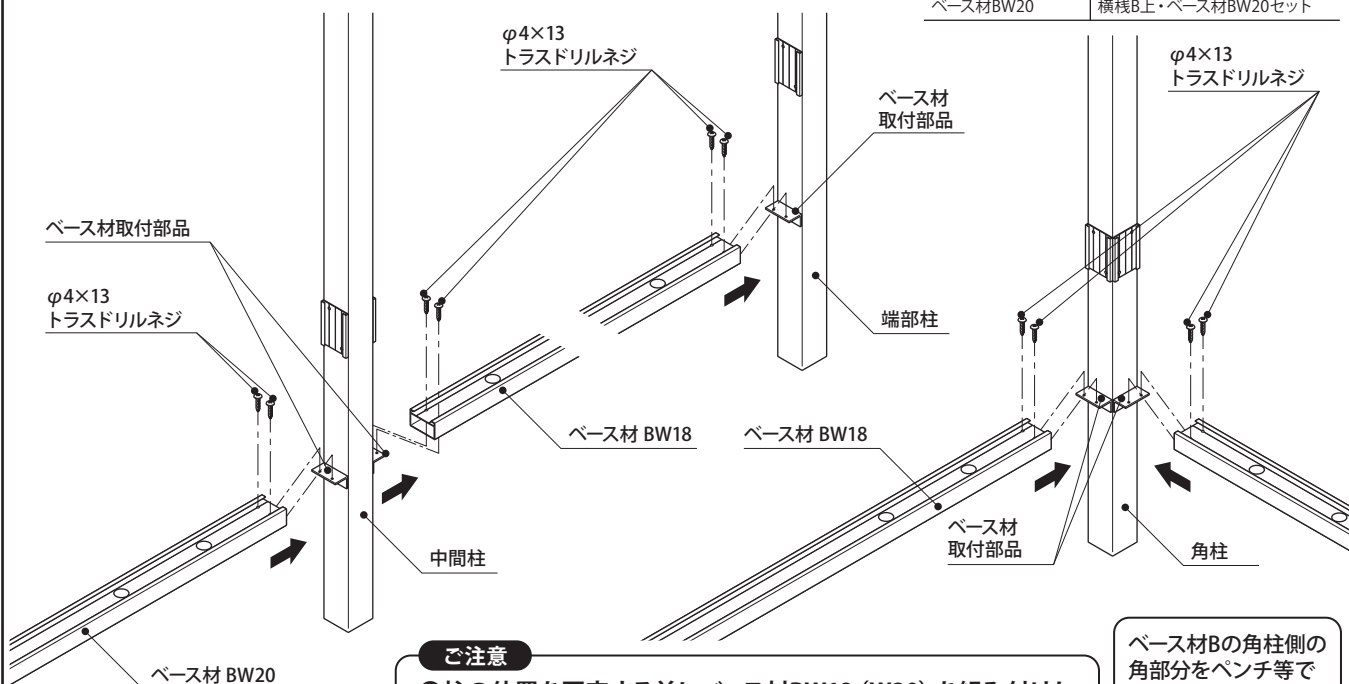
部材名	梱包名称
端部柱	端部柱 (1本入) セット
中間柱	中間柱 (1本入) セット
角柱	角柱 (1本入) セット
ベース材取付部品	横桟B上・ベース材BW18セット
	横桟B上・ベース材BW20セット



2.ベース材BW18 (W20) の組付（柱建込み時）

- ①柱を立て、ベース材BW18 (W20) にベース材取付部品を差し込んでφ4×13トラスドリルネジで取り付けます。

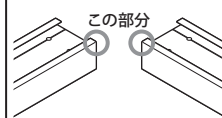
部材名	梱包名称
ベース材BW18	横桟B上・ベース材BW18セット
ベース材BW20	横桟B上・ベース材BW20セット



ご注意

- 柱の位置を固定する前にベース材BW18 (W20) を組み付けし、柱ピッチ (1800mm) (2000mm) 出しを必ず行ってください。
- 柱・ベース材BW18 (W20) の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。

ベース材Bの角柱側の角部分をペンチ等で切り取ってください。



3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

3.最下部パネルの組付

W08パネルの場合です。W04パネルの場合も同じように組み付けてください。

ご注意

パネルの施工は、必ず千鳥張りになるようにしてください。
(基本寸法図P.10・11参照)

下段より順次下記方法にて、パネルの組み付けを行ってください。

1.パネルの取外し

パネルを箱から取り出し、パネル上側を上にして片側を押さえて反対側のパネルのセンターを持って、上にスライドさせて抜いてください。(上下逆ですと抜けません。)

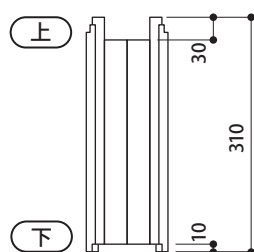
パネルジョイント材がパネルと一緒に上に上がってきた場合は、下に押し下げてください。

パネルが抜けやすくなります。

ご注意

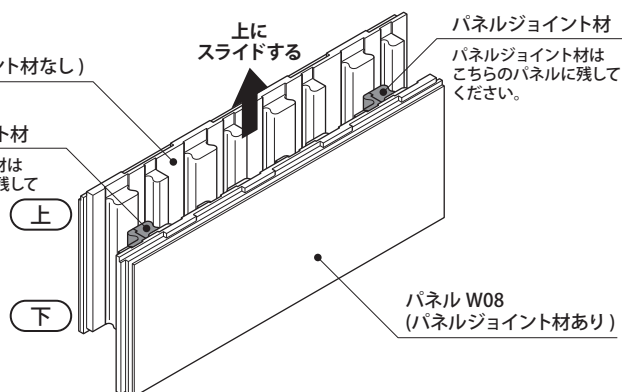
パネル側面図

パネルには上・下があります。
溝が深い(30mm)の方が上になります。
必ず上を上側にして作業を行ってください。



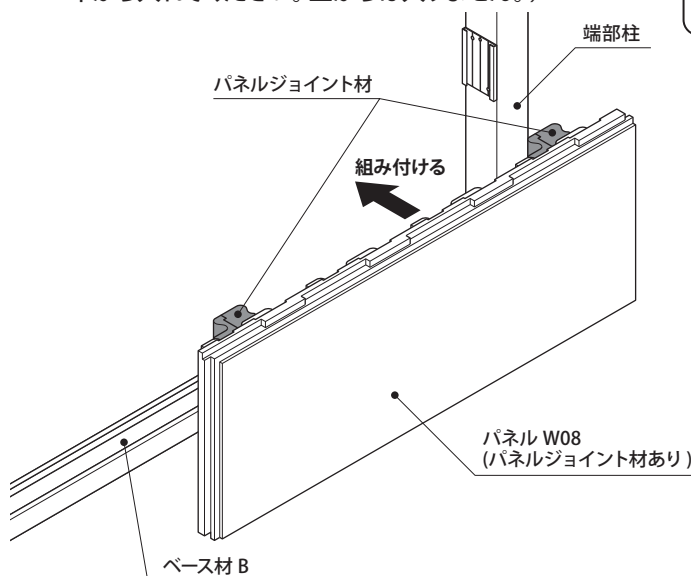
パネル W08
(パネルジョイント材なし)

パネルジョイント材
パネルジョイント材は
こちらのパネルに残して
ください。



2.最下部パネルの柱への組付

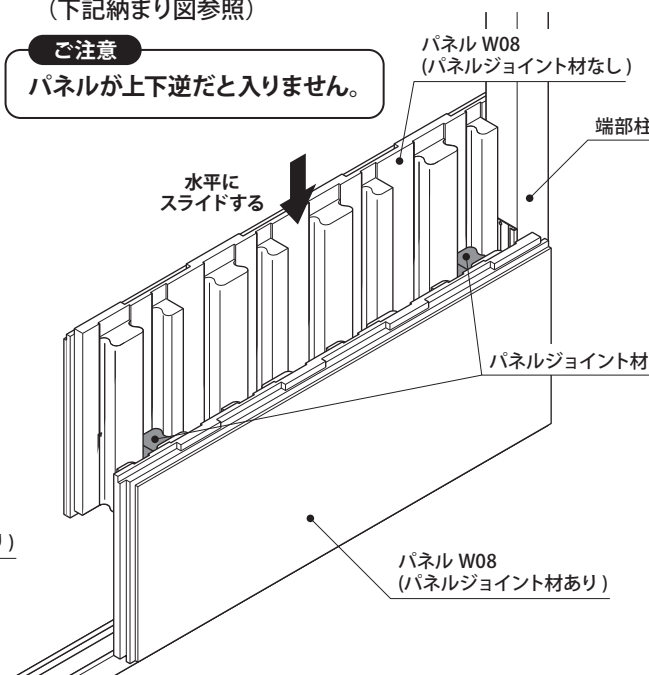
- ①パネル(パネルジョイント材あり)を柱と柱の間に、ベース材Bの上に載せます。(下記納まり図参照)
(パネルジョイント材がパネルから抜けた場合は、同じ向き<upと入った方を上>にしてパネルの下から入れてください。上からは入りません。)



- ②先程抜いたパネル(パネルジョイント材なし)を、上から水平にスライドさせてパネルジョイント材に入れてください。(下記納まり図参照)

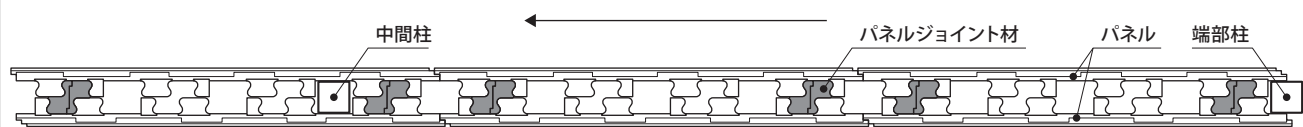
ご注意

パネルが上下逆だと入りません。



パネル組立の納まり図

下の図のように、端部柱側からパネルの組み付けを続けてください。途中の中間柱はパネルで挟んでください。



3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

4.90° コーナー部のパネルの加工及び組付

- ①コーナー部に使用するパネルは、通常パネルを加工して使用します。下の図のように、内側のパネルを加工してください。
●外側のパネルは加工する必要はありません。

パネルのカット以外のパネル・横棧の組み付けは通常パネルと同じです。

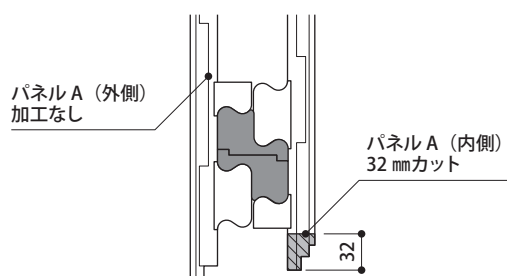
パターン1

- ①先にパネルA（内側）の斜線部を32mmカットして取り付けてください。
②次にパネルB（内側）の斜線部を66（64）mmカットして取り付けてください。
●パネルA・B（外側）は加工する必要はありません。

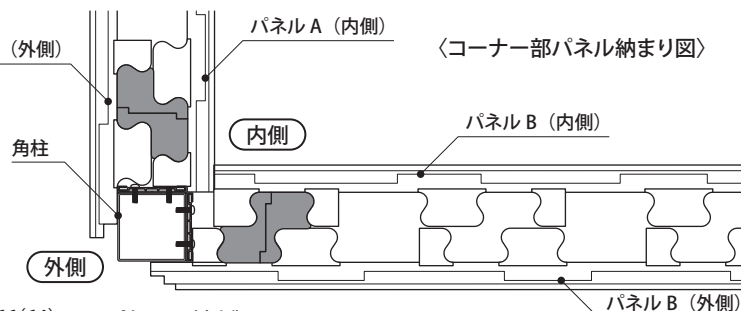
ご注意

パネルには向きがあります。
加工する場合、ご注意ください。

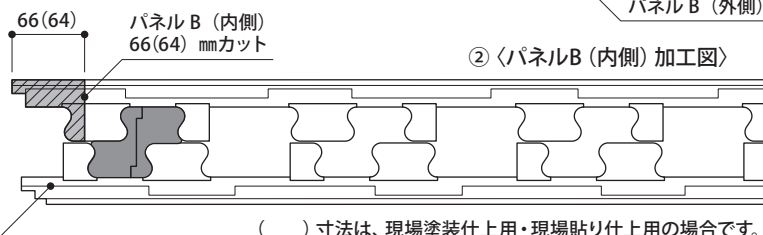
①〈パネルA（内側）加工図〉



〈コーナー部パネル納まり図〉



②〈パネルB（内側）加工図〉

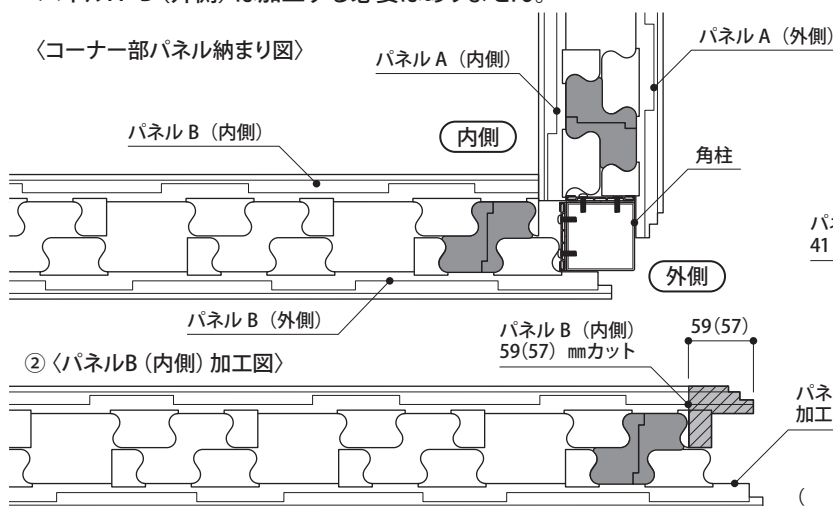


() 寸法は、現場塗装仕上用・現場貼り仕上用の場合です。

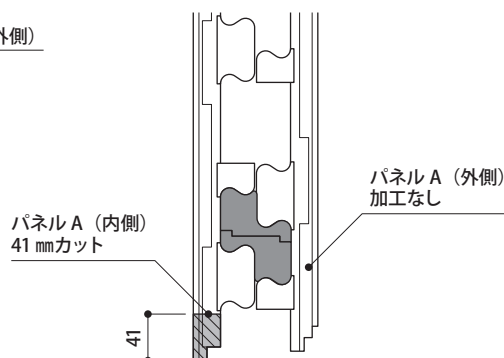
パターン2

- ①先にパネルA（内側）の斜線部を41mmカットして取り付けてください。
②次にパネルB（内側）の斜線部を59（57）mmカットして取り付けてください。
●パネルA・B（外側）は加工する必要はありません。

〈コーナー部パネル納まり図〉



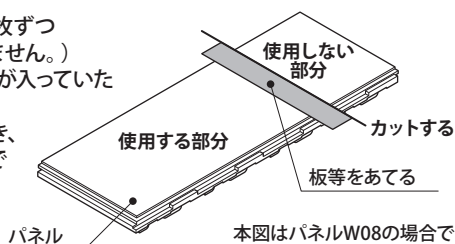
①〈パネルA（内側）加工図〉



() 寸法は、現場塗装仕上用・現場貼り仕上用の場合です。

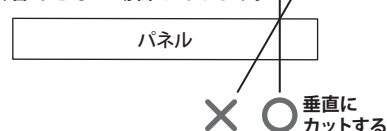
●パネルの切詰め方法

1. パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつカットしてください。（上からは抜けません。）（カットする時は、パネルジョイント材が入っていた方を下にして置いてください。）
2. 上記にて寸法を出して野書き線を引き、板等をあてて目の細かいのこぎり等でカットしてください。



本図はパネルW08の場合です。

3. 真っ直ぐ垂直にカットしてください。現場仕上用の場合、端部カバーとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

5.フリーコーナー部（鋭角60°～90°・鈍角90°～120°）の施工

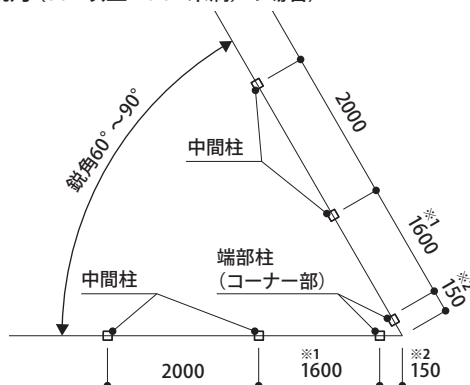
下の図のようにコーナー部より施工してください。

1.フリーコーナー部の柱の位置出し及び建込み

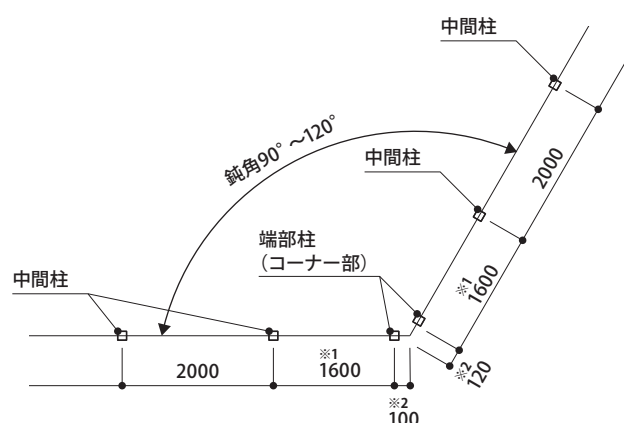
コーナー角度によりフリーコーナー部の柱の位置が異なります。

下の図のように柱の位置出しを行い、柱の建込みを行ってください（P.16参照）

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉



〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



- 柱の組立時、柱のピッチ出しの為ベース材Bを組み付けてください。（P.17参照）
- コーナー部は柱ピッチが1600mmの為、ベース材Bの加工が必用です。P.21のベースB材の切詰めを参考に加工後、柱を施工してください。

- ※1 柱のセンターの交点からの寸法になります。
- ※2 コーナー部の端部柱から最初の柱ピッチは1600mmにしてください。この場合、ベース材B・横棧B上・横棧BはW18を加工してください。

2.パネルの加工

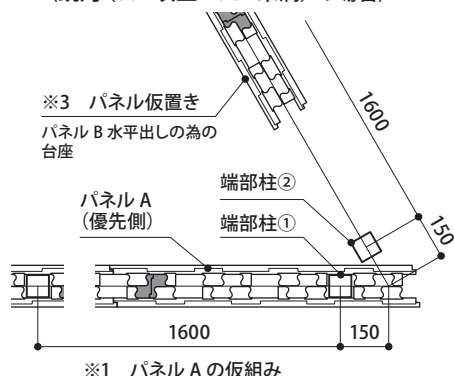
フリーコーナー仕様の場合、コーナー部に使用するパネルが干渉する為加工が必要です。加工は、下の図のように優先側でないパネルBから行ってください。

①パネルBのマーキング

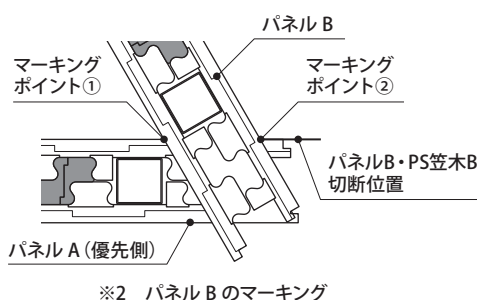
- ※1 柱建込み（ベース材取付）後、パネルA（優先側）を端部柱①に通してベース材の上に仮置きしてください。
- ※2 同様にパネルBを端部柱②に通しパネルAの上に重ね、交わる部分のパネルB底面2ヶ所にマーキングしてください。
- ※3 他のパネルを離れた位置に仮置きし台座代わりにすると、パネルBの水平が出しやすくなります。（下記参照）

パネルBのマーキング方法

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉

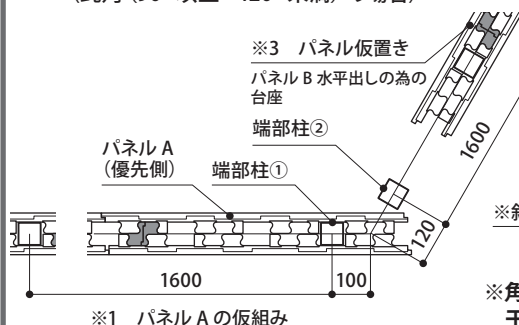


※1 パネルAの仮組み

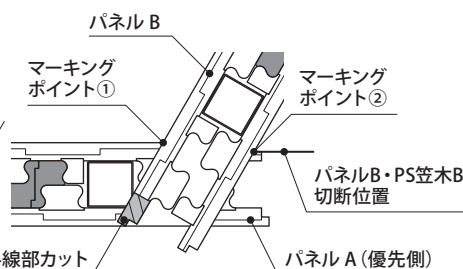


※2 パネルBのマーキング

〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



※1 パネルAの仮組み

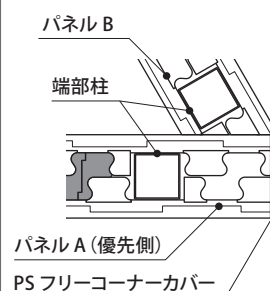


※2 パネルBのマーキング

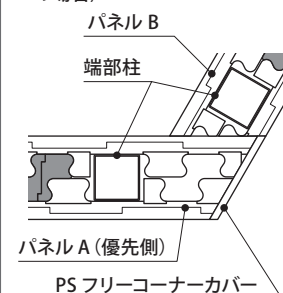
※角度によりパネルBが柱と干渉する場合があります。干渉した場合、斜線部をカットしてください。

フリーコーナー部納まり図

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉



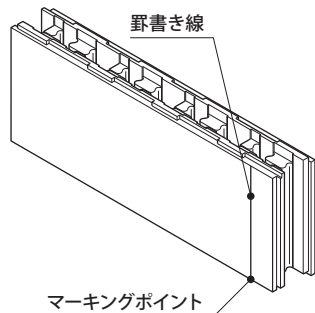
〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

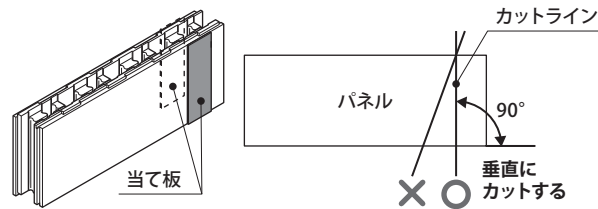
②パネルBの加工

マーキングしたパネルBを柱から外し、マーキングポイントを結んだ線をパネルのサイドに下から上へ、真っ直ぐ罫書き線を引きカットしてください。



ご注意

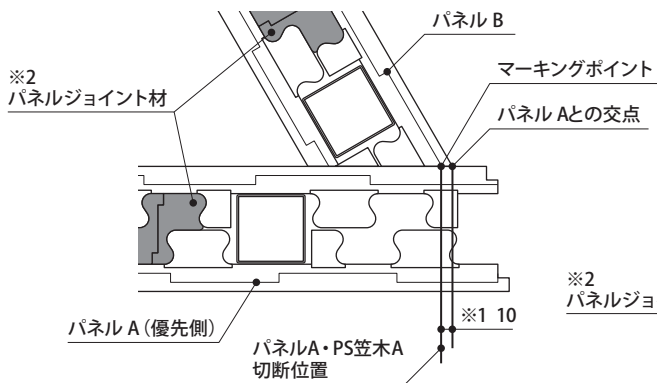
- パネルは組み付けた状態でカットしてください。
- パネルは立てた状態で垂直にカットしてください。
- カットラインに合わせ、当て板を内側・外側に2枚セットし動かないようにクランプ等で固定し、目の細かいのこぎり等でカットしてください。



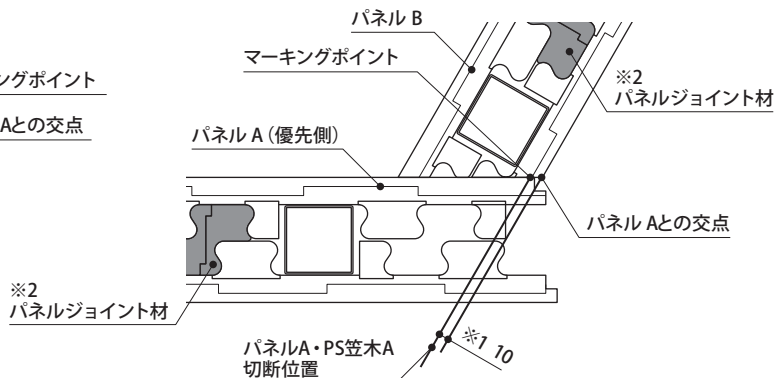
③パネルA (優先側) のマーキング

下図のようにパネルAと加工したパネルBを仮組みし、パネルAとの交点より10mmずらした位置にマーキングしてください。パネルBのマーキング時、中間柱に仮組みしたパネルは外してください。

〈鋭角 (60° 以上~90° 未満) の場合〉



〈鈍角 (90° 以上~120° 未満) の場合〉



④パネルAの加工

マーキングしたパネルAを柱から外し、マーキングポイントを結んだ線をパネルのサイドに下から上へ、真っ直ぐ罫書き線を引きカットしてください。
加工方法はパネルBと同様に加工してください。

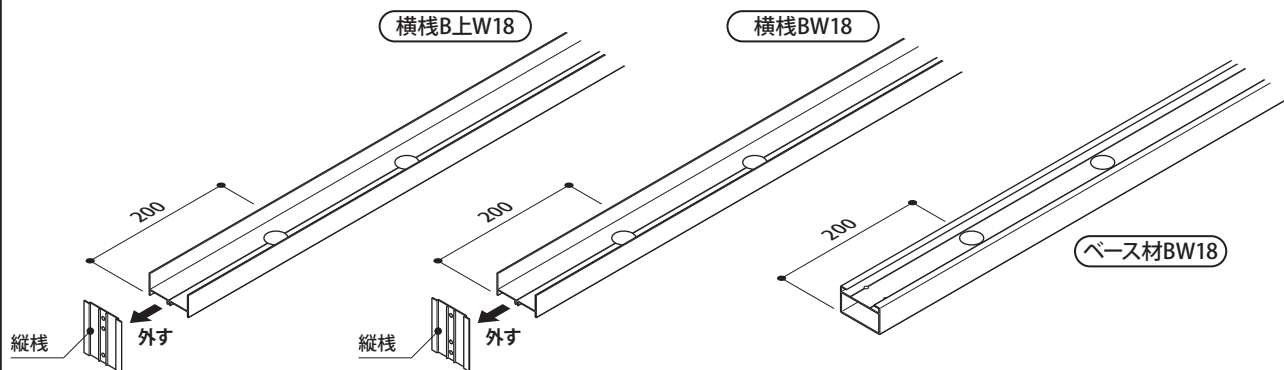
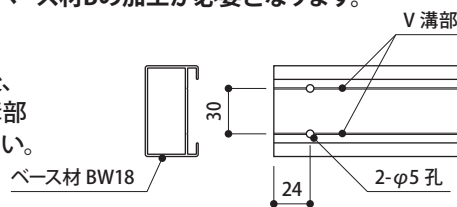
- ※1 パネルAのカット位置は、フリーコーナーカバーを貼り付ける為、パネルBとの交点から10mmずれます。
- ※2 カットする側のパネルジョイント材をずらしてからカットしてください。

3.横棧B上 (W18) ・横棧B (W18) ・ベース材B (W18) の切詰め

※フリーコーナー部の場合、柱ピッチが1600mmになりますので横棧B上・横棧B・ベース材Bの加工が必要となります。
下図を参考に200mm切詰めしてください。

- ①横棧B (W18) と横棧B上 (W18) は縦棧を外してカットしてください。
カット後、同じ向きでタッピングホールにネジ止めになります。

- ②ベース材B (W18) はカット後、端部から24mmのところV溝部2ヶ所にφ5孔加工してください。



3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

6.横棧BW18 (W20) の組付

ご注意

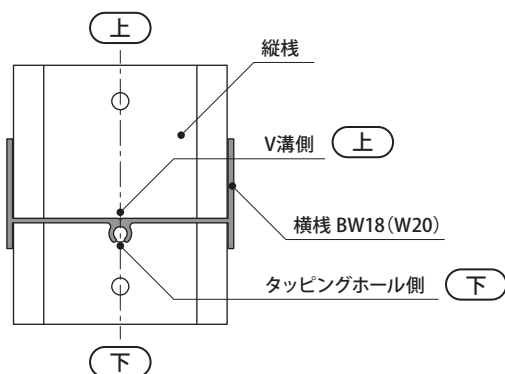
- フリーコーナー・本体現場切詰め等で柱ピッチが変わった場合、ベース材Bの切詰め加工が必要になります。各仕様にて確認し加工してください。

ご注意

横棧Bには、横棧BW18 (W20) と横棧B上W18 (W20) があります。
また、それぞれに向きの上下がありますので、間違わないようにしてください。

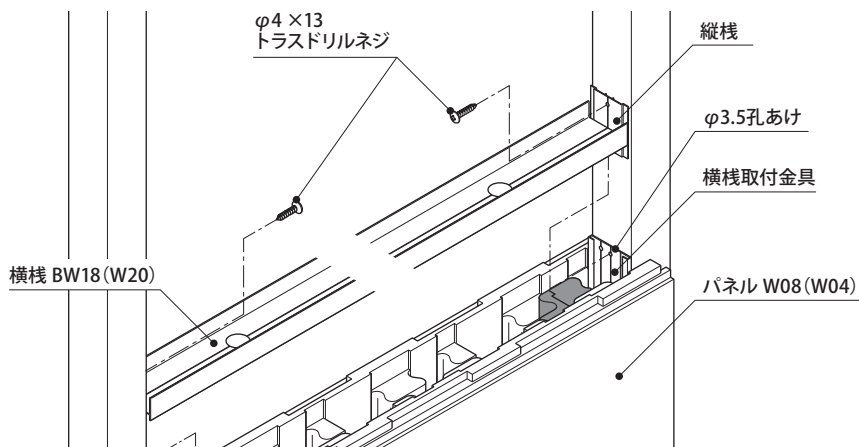
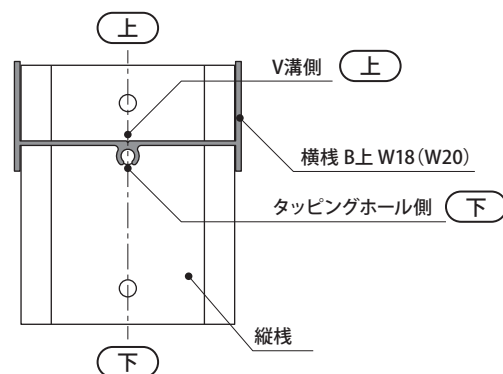
横棧BW18 (W20) 縦断面図

部材名	梱包名称
横棧BW18	横棧W18 (1本入) セット
横棧BW20	横棧W20 (1本入) セット



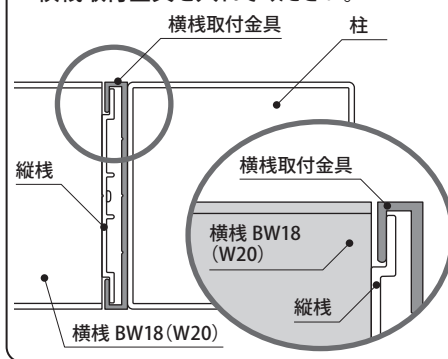
横棧B上W18 (W20) 縦断面図

部材名	梱包名称
横棧B上W18	横棧B上・ベース材BW18セット
横棧B上W20	横棧B上・ベース材BW20セット

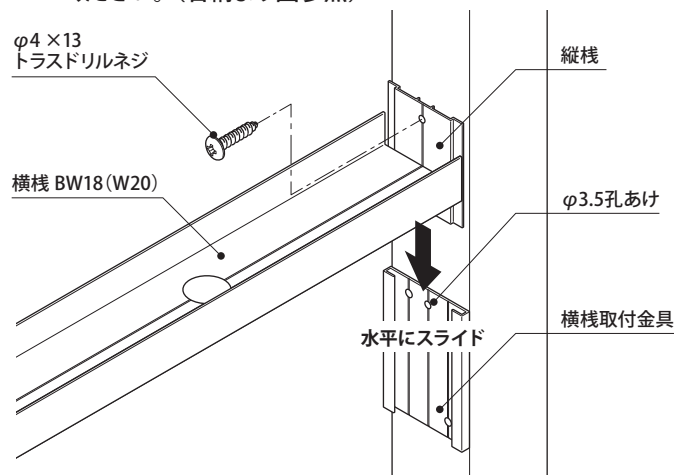


横棧BW18 (W20)・横棧取付金具納まり図

横棧BW18 (W20) と縦棧の隙間に、横棧取付金具を入れてください。

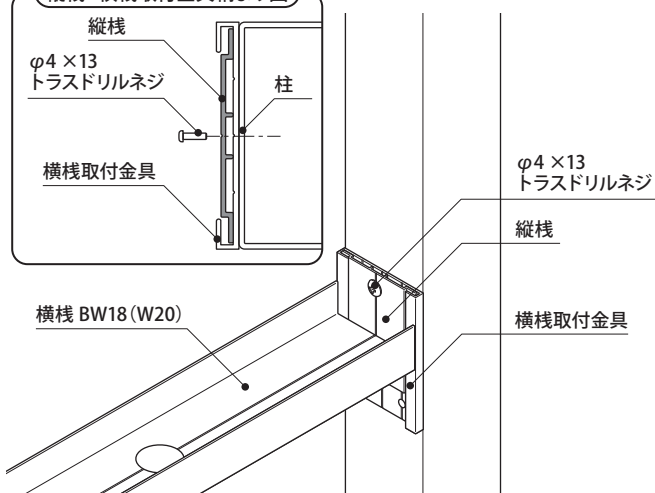


- ①最上部以外のパネルは横棧BW18 (W20) で固定します。横棧BW18 (W20) の上下を確認し柱間に上から水平にスライドさせ、柱に付いている横棧取付金具に入れてください。(右納まり図参照)



- ②縦棧にあってる孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

縦棧・横棧取付金具納まり図



3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

7.パネル2段目以降の組付

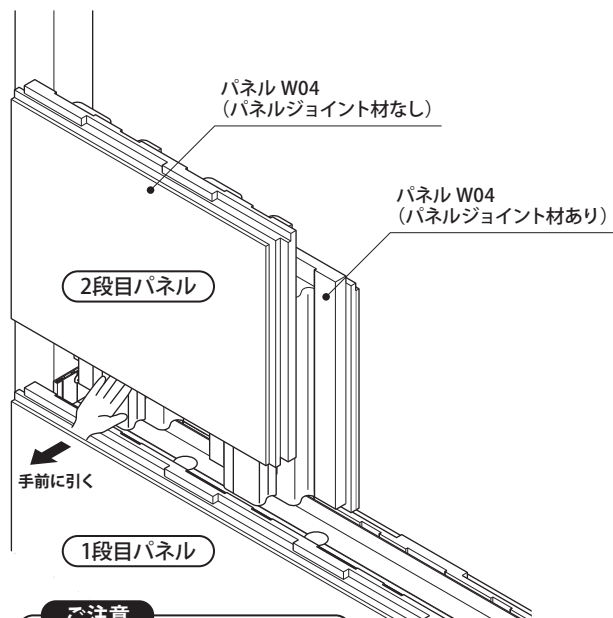
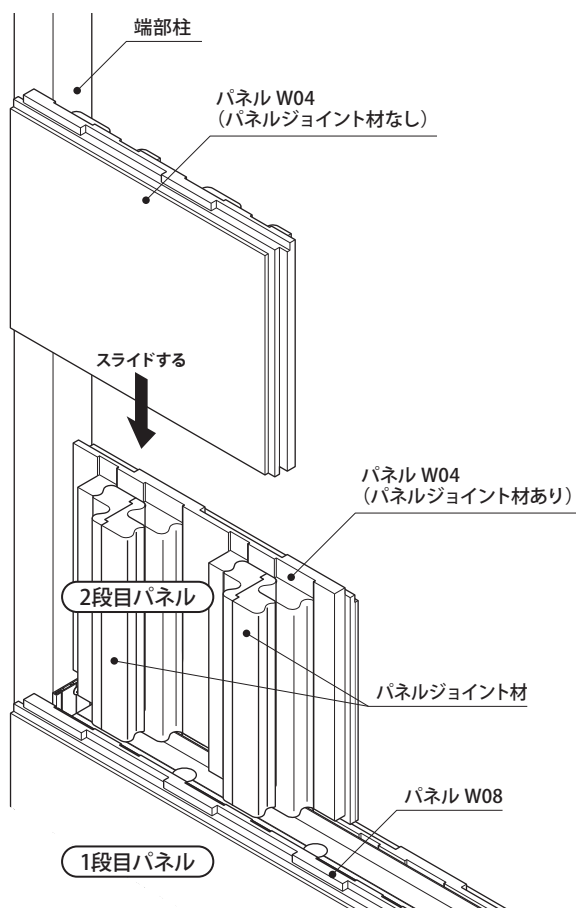
W04パネルの場合です。W08パネルの場合も同じように組み付けてください。

- ①1段目と同じようにパネルの上下を確認し、パネルジョイントありパネルを先に手で押さえ下パネルに載せ（嵌合）、もう1つのパネルを上からスライドさせてください。

参 照

パネルは千鳥張りのため、P.10・11を参照して、パネルW04（W08）を組み付けてください。

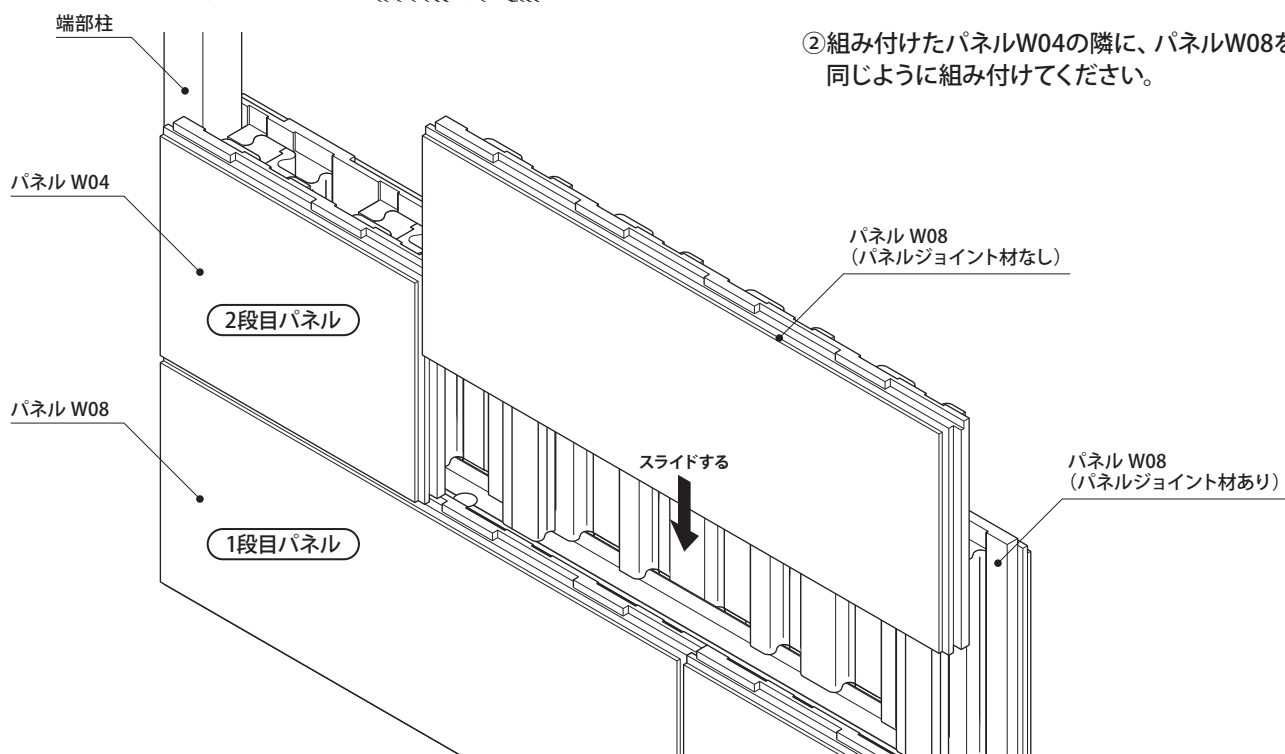
※パネルは、上下嵌合になっています。
嵌合直前に、パネルセンター下部を少し手前に引くと入りやすくなります。



ご注意

強く引きすぎないでください。
破損する可能性があります。

- ②組み付けたパネルW04の隣に、パネルW08を同じように組み付けてください。



3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

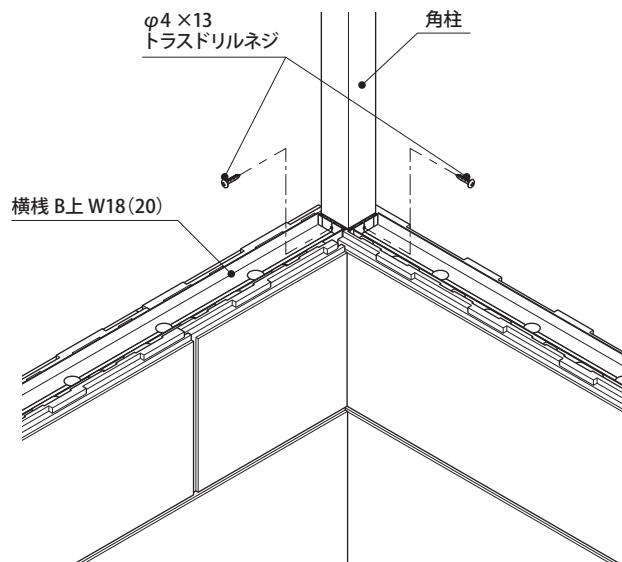
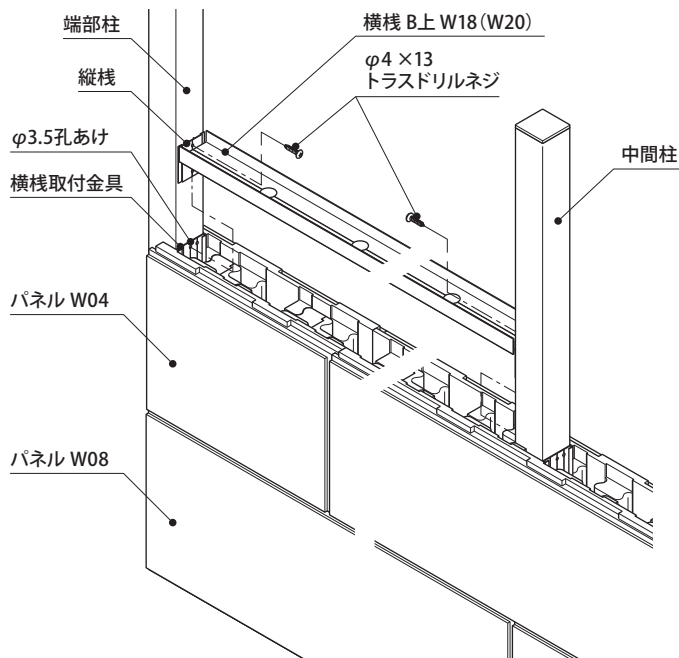
8.横棧B上W18 (W20) の組付

- ①最上部のパネルは横棧B上W18 (W20) で固定します。
横棧上BW18 (W20) の上下を確認し柱間に上から水平にスライドさせ、柱に付いている横棧取付金具に入れてください。
- ②縦棧にあいている孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

部材名	梱包名称
横棧B上W18	横棧B上・ベース材BW18セット
横棧B上W20	横棧B上・ベース材BW20セット

参 照

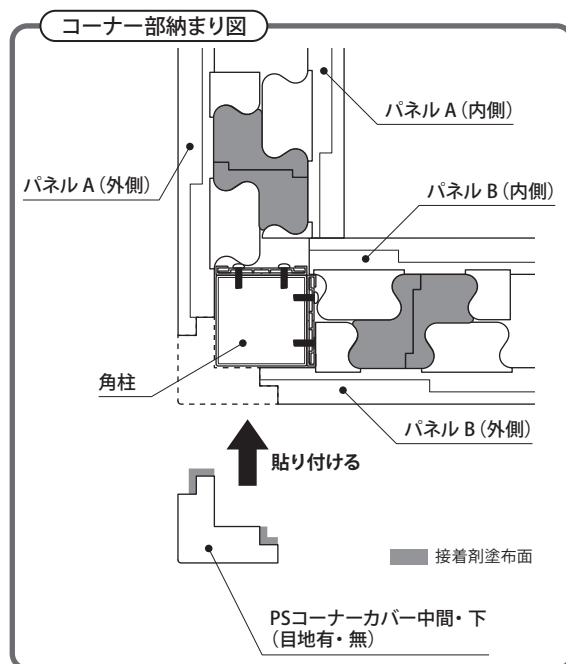
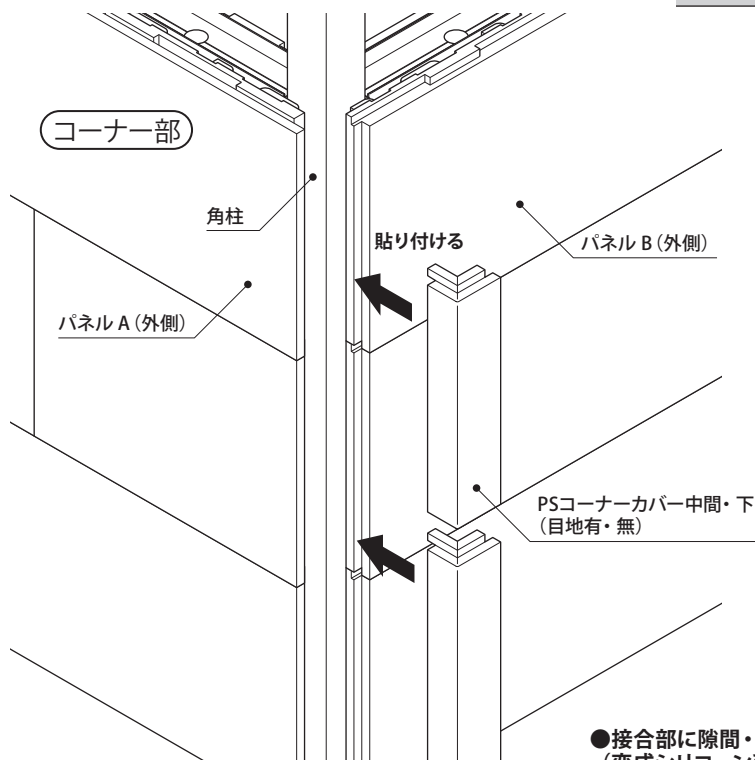
横棧B上W18 (W20) の向きは
P.22を参照してください。



9.PSコーナーカバー中間・下 (目地有・無) の貼付け

- ①PSコーナーカバー中間・下 (目地有・無) の接合部に
接着剤を塗り、パネル側面に貼り付けてください。
パネルと目地 (目地有の場合) を合わせて貼り付けて
ください。

部材名	梱包名称
PSコーナーカバー中間・下 (目地有)	PSコーナーカバー中間・下 塗装済 (目地有) (1個入) セット
PSコーナーカバー中間・下 (目地有)	PSコーナーカバー中間・下 現場塗装仕上用 (目地有) (1個入) セット
PSコーナーカバー中間・下 (目地無)	PSコーナーカバー中間・下 現場塗装仕上用 (目地無) (1個入) セット
PSコーナーカバー中間・下 (目地無)	PSコーナーカバー中間・下 現場貼り仕上用 (目地無) (1個入) セット
接着剤	接着剤セット



●接合部に隙間・段差等がある場合は、目地テープ貼り付け後、コーキング材 (変成シリコン系ノンブリードタイプ) で隙間・段差がないようにしてください。
(P.29参照)

本図は目地無の場合です。

3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

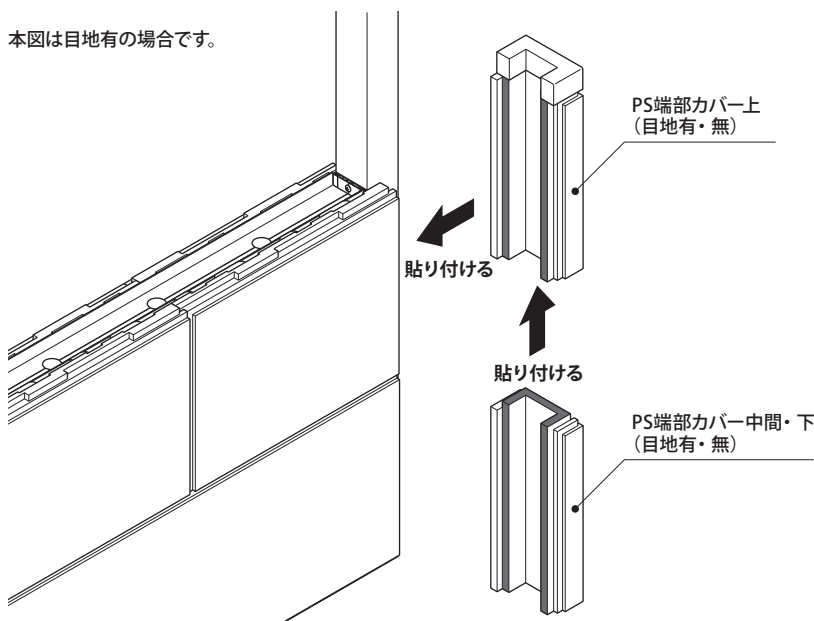
10.PS端部カバー上(目地有・無)・PS端部カバー中間・下(目地有・無)の貼付け

- ①PS端部カバー上(目地有・無)の接合部に接着剤を塗り、パネル上面・側面に貼り付けてください。
- ②PS端部カバー中間・下(目地有・無)に接着剤を塗り、PS端部カバー上(目地有・無)の下に貼り付けてください。
- ③反対側も同じように貼り付けてください。

●接合部に隙間・段差等がある場合は、目地テープ貼り付け後、コーキング材(変成シリコン系ノンブリードタイプ)で隙間・段差がないようにしてください。(P.29参照)

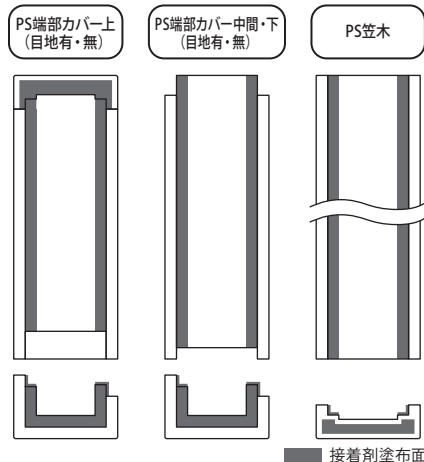
部材名	梱包名称
PS端部カバー上(目地有)	PS端部カバー上 塗装済(目地有)(2個入)セット
	PS端部カバー上 現場塗装仕上用(目地有)(2個入)セット
PS端部カバー上(目地無)	PS端部カバー上 現場塗装仕上用(目地無)(2個入)セット
	PS端部カバー上 現場貼り仕上用(目地無)(2個入)セット
PS端部カバー中間・下(目地有)	PS端部カバー中間・下 塗装済(目地有)(2個入)セット
	PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地有)(2個入)セット
PS端部カバー中間・下(目地無)	PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地無)(2個入)セット
	PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(2個入)セット
接着剤	接着剤セット

本図は目地有の場合です。



●接着剤塗布場所について

同梱のヘラで接着剤を全体に薄くのばしてください。



ご注意

接着剤が表面にはみ出ないように注意してください。はみ出した場合はすぐに拭き取ってください。

※指定接着剤以外は使用しないでください。

11.PS笠木W10(W08・W04)の加工及び貼付け

1.PS笠木W10(W08・W04)の貼付け

- ①PS笠木W10(W08・W04)に接着剤を塗り、パネルの上に貼り付けてください。

ご注意

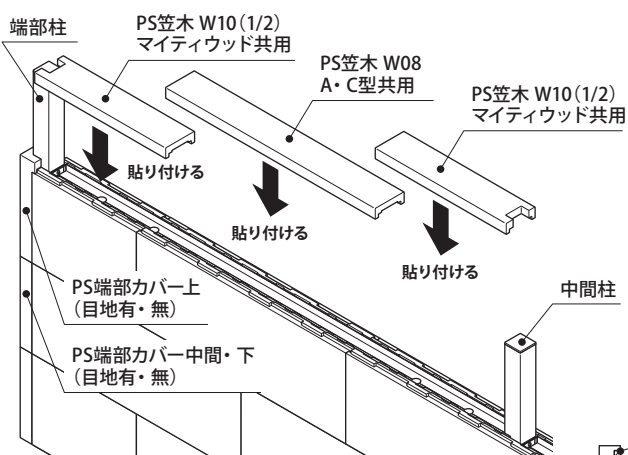
PS笠木は、納まり上寸法が短かめに設定されています。片側から突き合わせて貼り付けた場合、最後(反対側)の隙間が大きくなる可能性があります。接着剤を塗る前にPS笠木をパネルの上に置いて、隙間が均等になるように位置決めしてから貼り付けてください。

PS笠木の接着

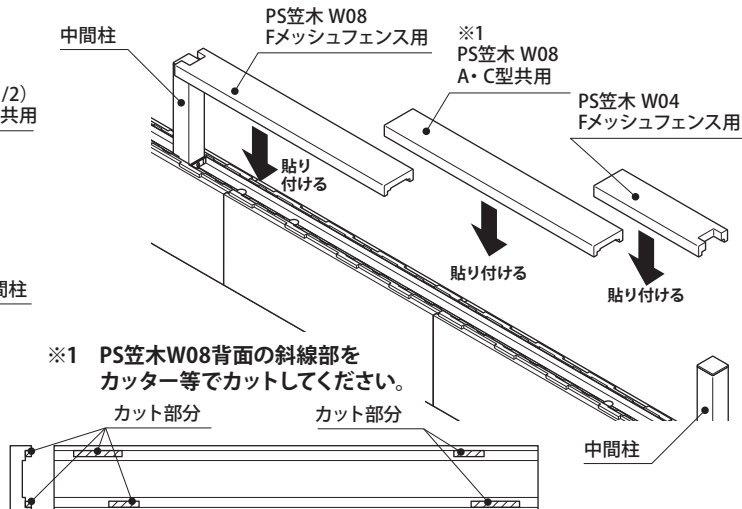
本図は目地無の場合です。

部材名	梱包名称
PS笠木W08 A・C型共用 Fメッシュフェンス用	PS笠木 塗装済W08セット
	PS笠木 現場塗装仕上用W08セット
	PS笠木 現場貼り仕上用W08セット
PS笠木W10 マイティウッド用	PS笠木 塗装済W10セット
	PS笠木 現場塗装仕上用W10セット
	PS笠木 現場貼り仕上用W10セット
PS笠木W04 Fメッシュフェンス用	PS笠木 塗装済W04セット
	PS笠木 現場塗装仕上用W04セット
	PS笠木 現場貼り仕上用W04セット

●端部柱(角柱)～中間柱の間の笠木の貼付け(W1800)



●中間柱～中間柱の間の笠木の貼付け(W2000)

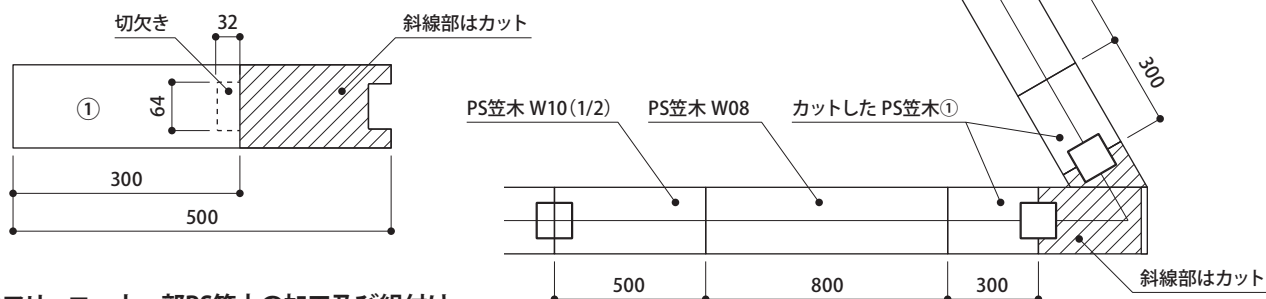


3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

4.フリーコーナー部PS笠木の加工及び組付（柱ピッチ1600mmの場合）

●Fメッシュフェンス用のPS笠木W10（1/2）を、下記方法にて2個作製してください。

- ①PS笠木W10（1/2）を300mmでカットし、端部に同じ切欠きを加工してください。
- ②切断・加工後、PS笠木を組み付けてください。



●フリーコーナー部PS笠木の加工及び組付け

- ①カットした残りのPS笠木の切欠き側を、柱側にしてパネルの上に乗せ、PS笠木Bにマーキングし、カットしてください。（下記PS笠木Bマーキング参照）
 - ②PS笠木Bを組み付けし、PS笠木Aに交点より10mm下がった位置にマーキングし、カットしてください。（下記PS笠木Aマーキング参照）
- 〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉

5.PS笠木の加工及び組付

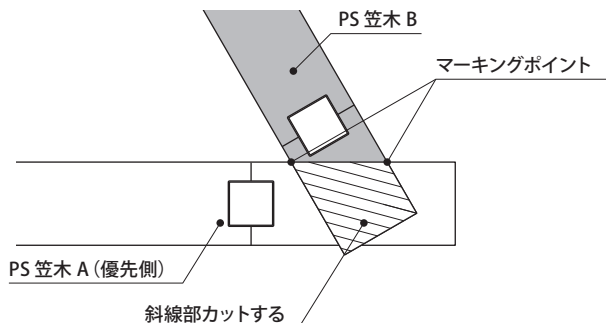
ご注意

コーナー部のPS笠木の加工は、他のPS笠木の位置を決めてから最後に長さ調整してマーキング・加工してください。

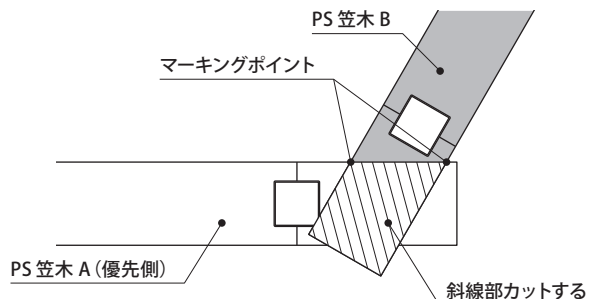
組み付けした優先側のパネルAにPS笠木A（優先側）を仮組みし、PS笠木BもパネルBの上に乗せ、マーキングポイントに合わせカットしてください。（下図参照）

①PS笠木Bのマーキング

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉



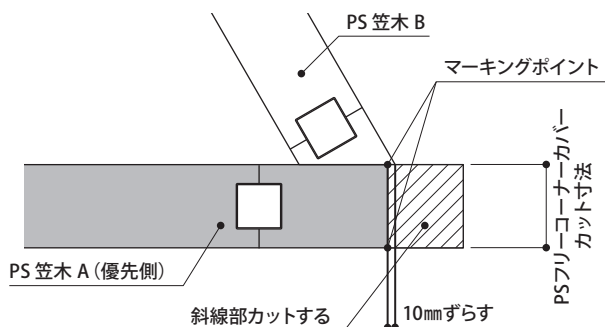
〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



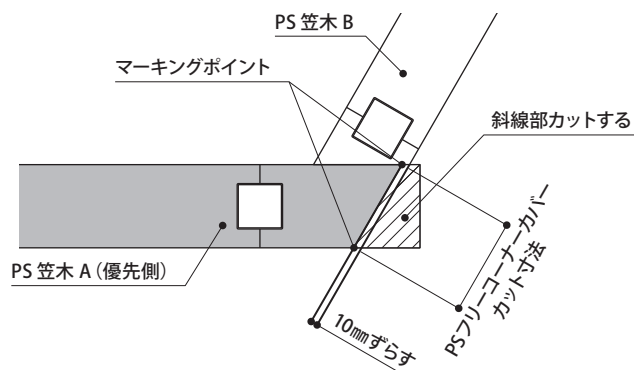
②PS笠木A（優先側）のマーキング・PSフリーコーナーカバーのカット寸法出し

※パネルA用のPS笠木A（優先側）は、パネルA同様マーキングポイントから10mmずらしてカットしてください。

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉



〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



6.PSフリーコーナーカバーの加工及び組付

PSフリーコーナーカバーの寸法出しを上図参照にカット寸法を測定し、アクセントパネル+10を現場にて加工してください。高さ方向は600・900ピッチで切断するとパネルと目地がそろい、目地テープを貼る位置がパネルと同じ位置になります。

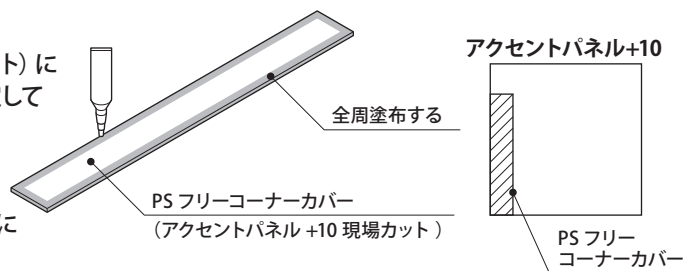
3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

①PSフリーコーナーカバーの組付

PSフリーコーナーカバー（アクセントパネル+10 現場カット）に接着剤を塗布し、仮固定用のφ4.1×38ナベ木ネジで固定してください。（接着剤の塗布は右図参照）

●接着剤の塗布方法

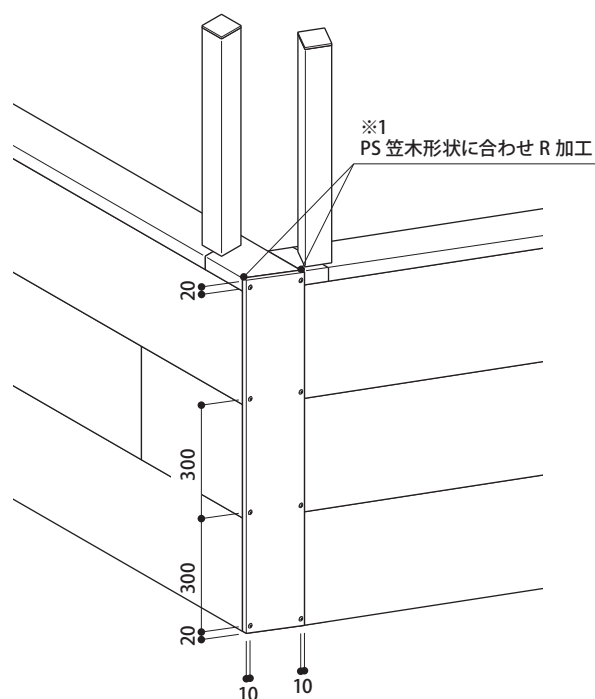
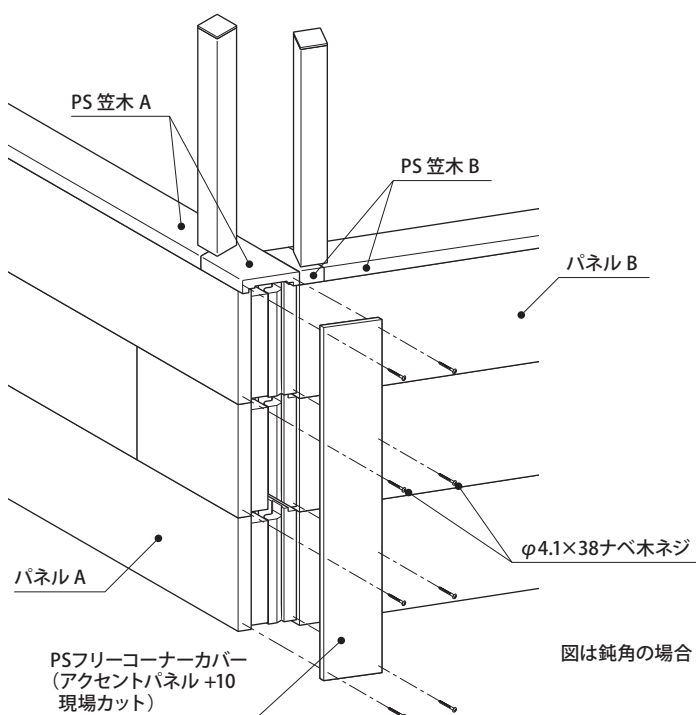
PSフリーコーナーカバーの全周に接着剤を塗布しパネルに貼り付けてください。



ご注意

※1 PS笠木上部はPS笠木に合わせ、ヤスリ等でR加工し形状を合わせ貼り付けてください。（下図参照）

- PSフリーコーナーカバーを取り付ける面は、フラットに仕上げてください。凹凸があるとPSフリーコーナーカバーが波打つ可能性があります。
- 接着剤を塗布する前に、パネルカット時に出た細かな切粉を除去してください。
- 接着剤がはみ出さないようにしてください。はみ出した場合はふき取ってください。

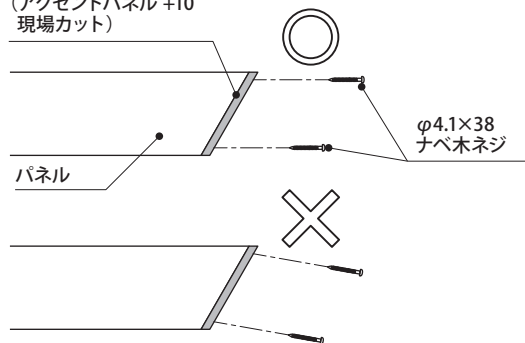


ご注意

●PSフリーコーナーカバーのネジ固定

ネジ固定は下図を参考に行ってください。

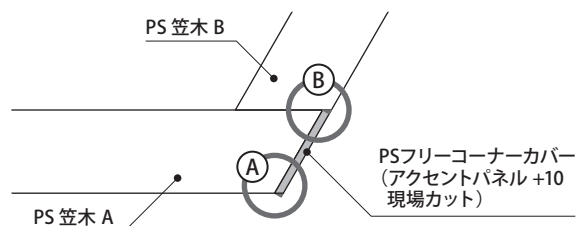
PSフリーコーナーカバー
（アクセントパネル +10
現場カット）



ネジの先端及び、ネジ頭が飛び出さないようにしてください。
ネジはパネルに平行にネジ止めしてください。

●鈍角の場合のPSフリーコーナーカバーの加工について

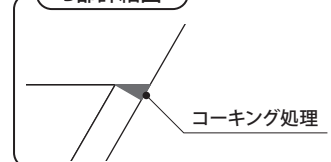
鈍角のPSフリーコーナーカバーのはみ出し部（A部）はカットし、隙間部（B部）はコーキングしてください。（下図参照）



A部詳細図



B部詳細図

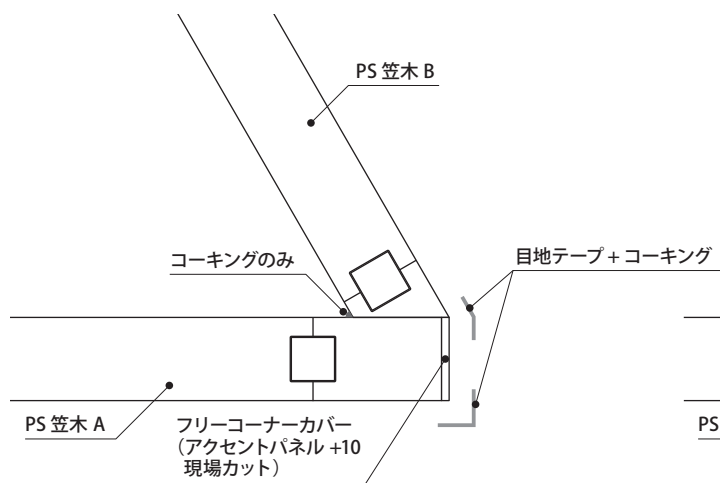


3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

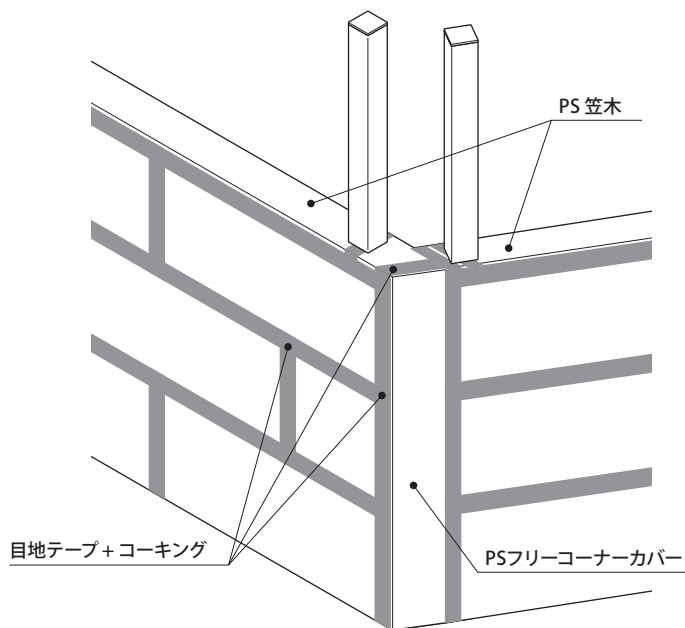
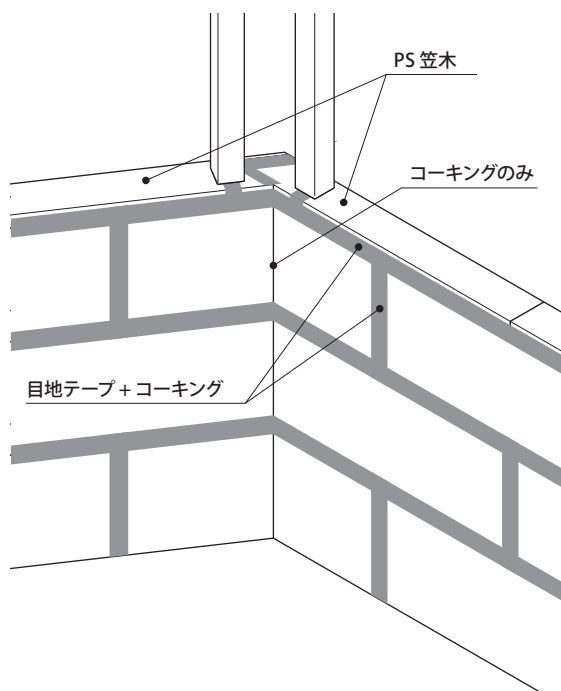
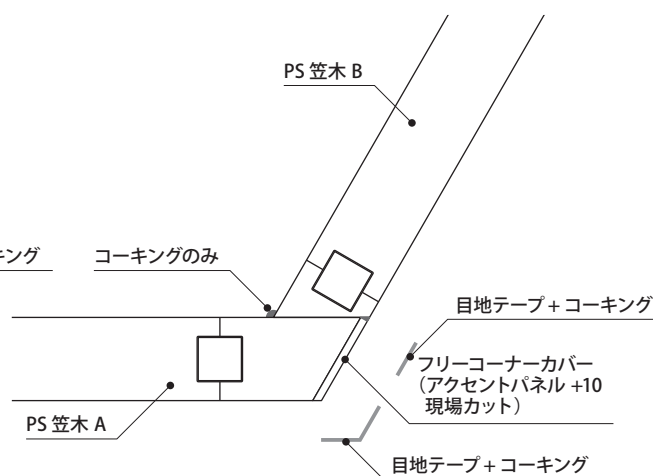
7.目地テープの貼付け及びコーキング処理（現場塗装仕上用の場合）

接合部に隙間・段差等ある場合は、目地テープ貼付け後コーキング材（変成シリコン系ノンブリードタイプ）で隙間・段差がないようにしてください。（P.29参照）

〈鋭角（60°以上～90°未満）の場合〉



〈鈍角（90°以上～120°未満）の場合〉



- パネル及びPS笠木・PSフリーコーナーカバー接合部に、目地テープ+コーキング処理を施してから塗装仕上を行ってください。
- ※現場貼り仕上用の場合、目地テープ及びコーキング処理は必要ありません。

3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

12. 目地テープの貼付け（現場塗装仕上用の場合）

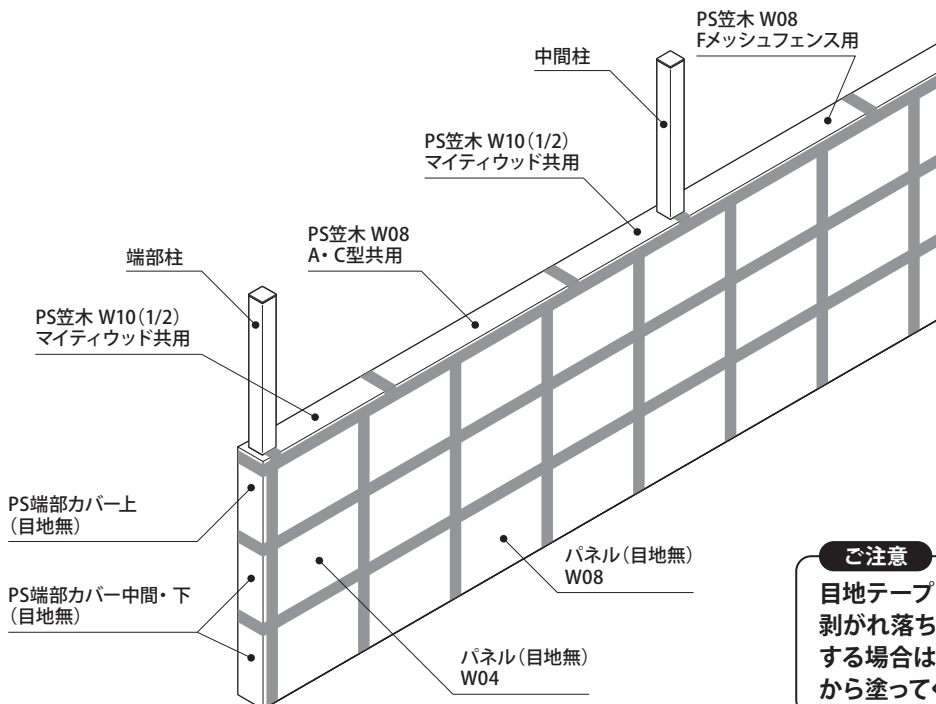
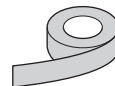
パネルW08 (W04)・PS笠木W10 (W08・W04)・PS端部カバー上・PS端部カバー中間・下の接合部に目地テープを貼り付けてください。

- 現場塗装仕上の場合、柱に塗料がつかないように養生してください。
又、目地テープの段差が出ないように2度塗りしてください。
(1度塗りですと乾燥後に、目地テープの段差が出る場合があります。)
- アクセントパネルを取り付けの場合、目地テープはアクセントパネル組み付け後貼り付けてください。
(アクセントパネルの取り付けは、アクセントパネル同梱の取付説明書を参照ください。)
- 寸法公差（ばらつき）の為、接合部に隙間・段差が発生する場合があります。この場合は、目地テープの上からコーキング（変成シリコン系ノンブリードタイプ）にて隙間・段差をなくしてください。

部材名	梱包名称
目地テープ	目地テープセット

目地テープ

内側に粘着剤が付いています。

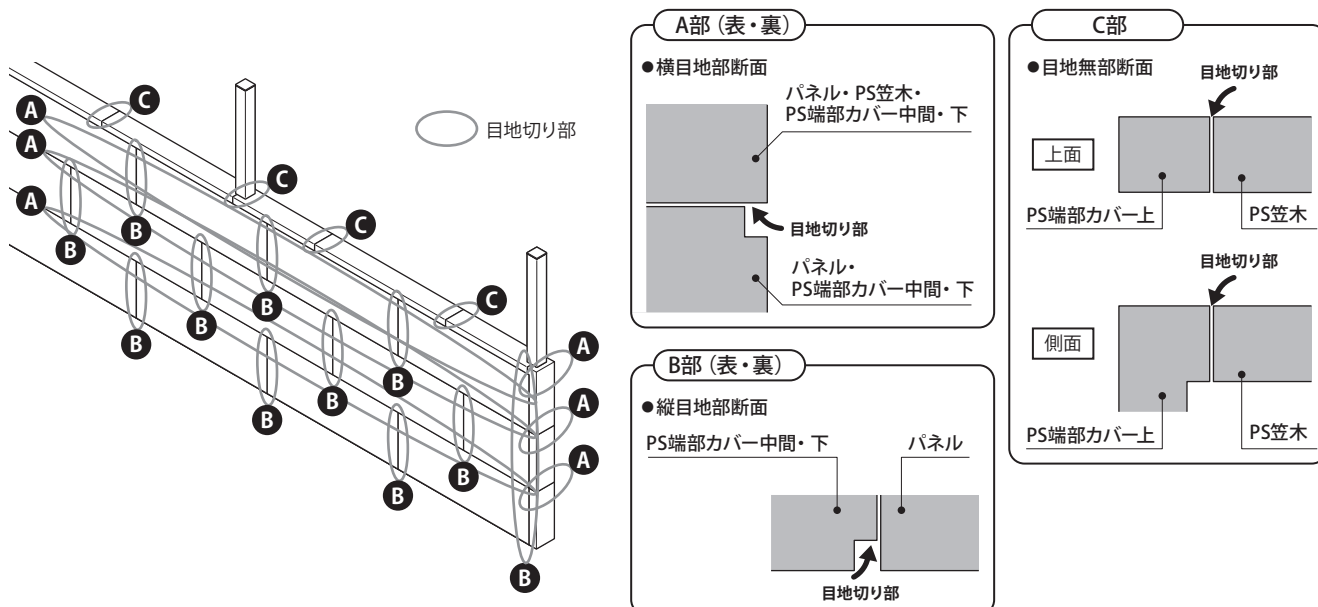


ご注意

目地テープは貼り付け後、長時間経過すると剥がれ落ちる可能性があります。長時間放置する場合は、コーキング材を目地テープの上から塗ってください。

13. 目地切り（目地有の場合）

目地有にて現場塗装仕上げをする場合は、目地テープなしで塗装し、塗装後、パネルW08 (W04)・PS笠木W10 (W08・W04)・PS端部カバー上・PS端部カバー中間・下の接合部は、必ずカッター等で目地切りを行ってください。接合部が塗料で埋まった状態のままですと、割れの原因となります。



4.本現場切詰め200ピッチ〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

本現場切詰めの場合、柱位置の変更及び部材・部品の加工が必要となります。下記参照してください。

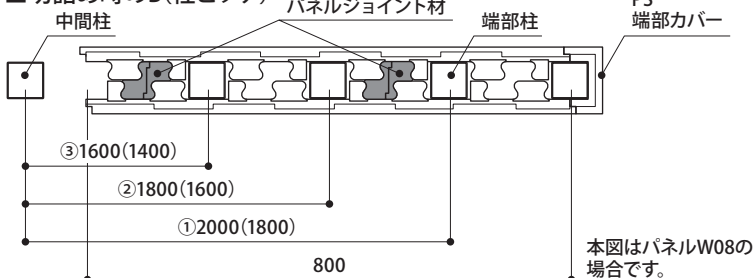
1.柱位置の変更

- パネルの形状の関係で切断寸法は200mmピッチでの切詰めになります。下記参照にて切詰めを行ってください。
- 切詰め寸法により柱の位置が変わります。下記参照にて柱の位置を移動させてください。

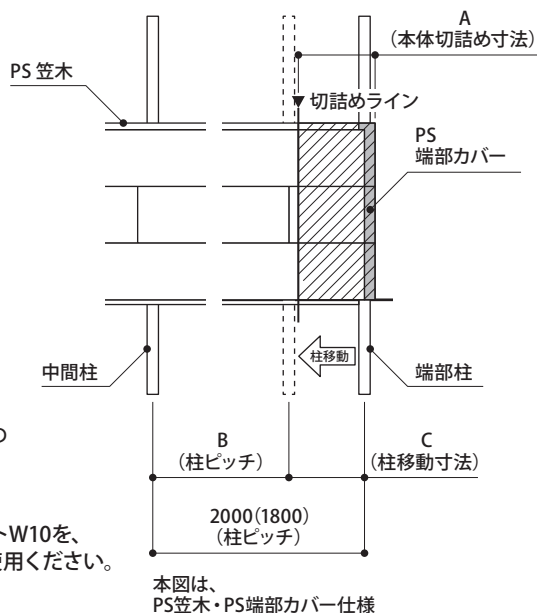
■柱ピッチ2000 (1800) の場合

A(本体切詰め寸法)	B(柱ピッチ)	C(柱移動寸法)
200 mm	①2000(1800) mm	0 mm
400 mm	②1800(1600) mm	200 mm
600 mm	③1600(1400) mm	400 mm

■切詰め時のB(柱ピッチ)



- 800mmの本体切詰めは1スパン減らしてください。
- 柱間が800mm以上1000mm以下の場合、横桟セット、横桟上・ベース材BセットW10を、柱間が800mm以下の場合、横桟セット、横桟上・ベース材BセットW08をご使用ください。切詰め方法は同じ要領で行ってください。



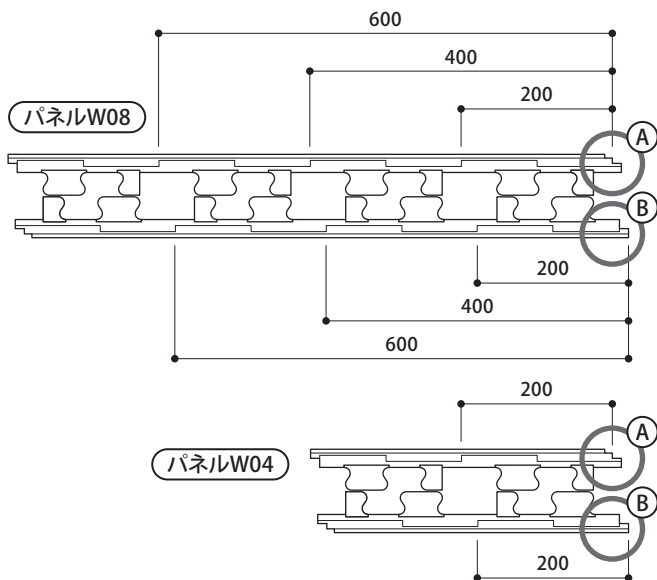
2.部品・部材の加工

1.パネル (W04・W08) の切詰め

- 各パネルの2ヶ所に入っているジョイント材を外し、基点より切詰め寸法を出し、下記方法にてパネルを切詰めてください。

ご注意

カットラインが違いますので、2枚重ねて切詰めないでください。



A部拡大図

●目地有

200・400・600

パネル基点

10(目地)

200・400・600

パネル基点

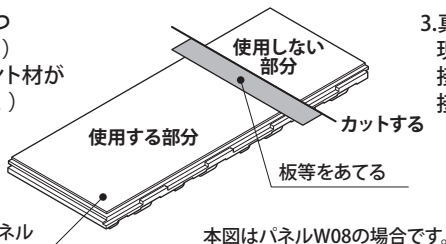
B部拡大図

200・400・600

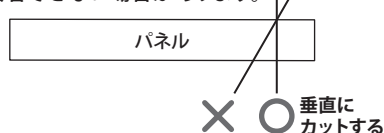
●パネルの切詰め方法

- 1.パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつ切断してください。(上からは抜けません。)(切断する時は傷防止の為、パネルジョイント材が入っていた方を下にして加工してください。)
- 2.上記にて寸法を出して罫書き線を引き、板等をあてて目の細かいこぎり等でカットしてください。

※パネルジョイント材を組み付けた際、両パネルのカット面に段差が出ないように切断してください。



- 3.真っ直ぐ垂直にカットしてください。現場仕上用の場合、端部カバーとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。

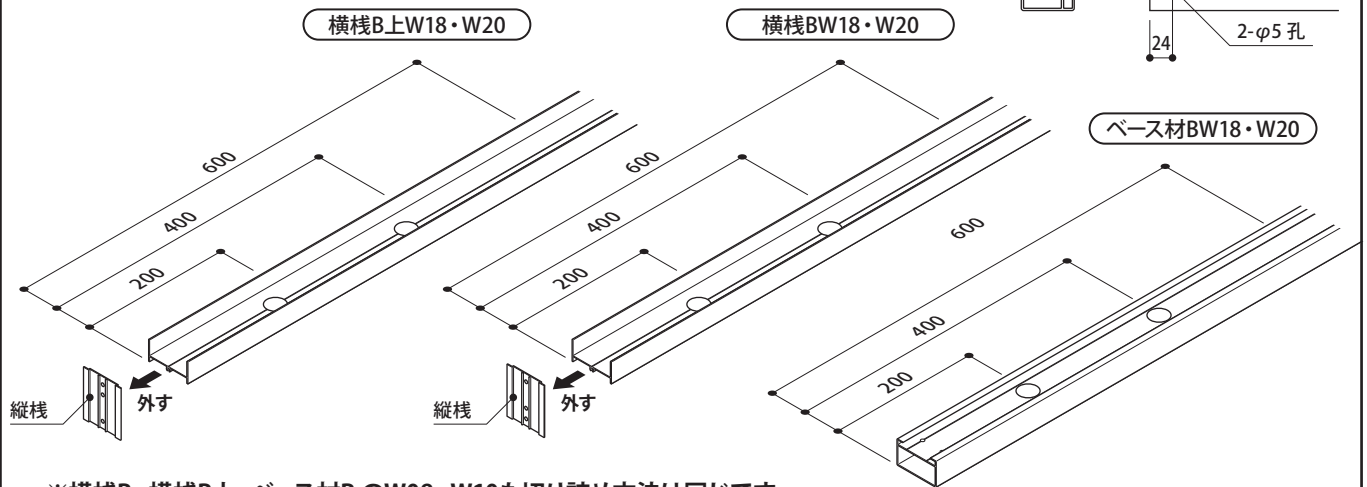
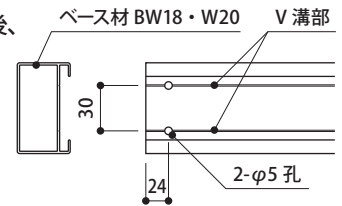


4.本現場切詰め200ピッチ〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

2.横棧B上 (W18・W20) ・横棧B (W18・W20) ・ベース材B (W18・W20) の切詰め

①横棧B (W18・W20) と横棧B上 (W18・W20) は縦棧を外してカットしてください。カット後、同じ向きでタッピングホールにネジ止めになります。

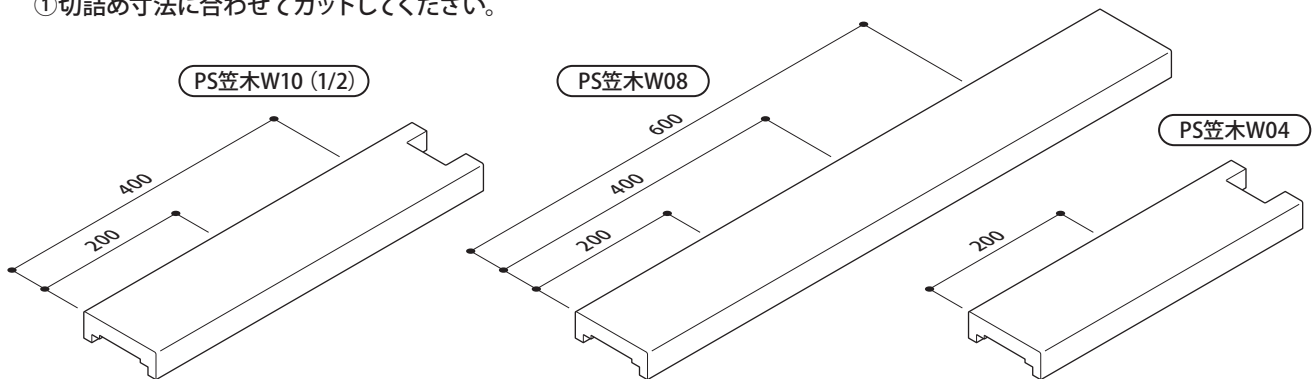
②ベース材B (W18・W20) はカット後、端部から24mmのところV溝部2ヶ所にφ5孔加工してください。



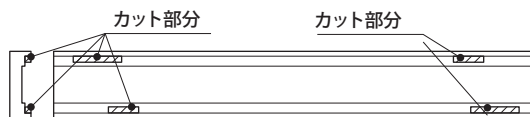
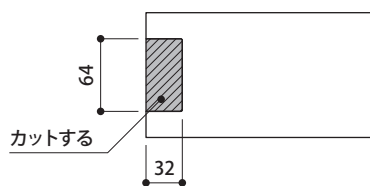
※横棧B、横棧B上、ベース材BのW08・W10も切り詰め方法は同じです。

3.PS笠木 (W04・W08・W10) の切詰め

①切詰め寸法に合わせてカットしてください。



②切断後、傾斜部の切り欠きを行ってください。

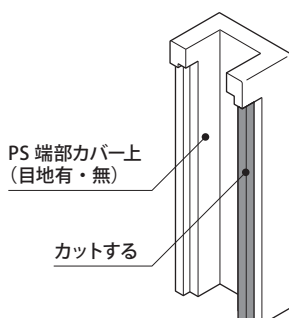


PS笠木とパネルの嵌合で取り付けできない場合は、PS笠木背面の斜線部をカッター等でカットしてください。

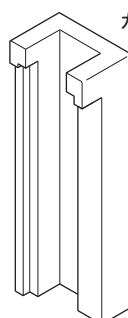
4.PS端部カバー上 (目地有・無) ・PS端部カバー中間・下 (目地有・無) の切詰め

●網かけ部分をカットしてください。

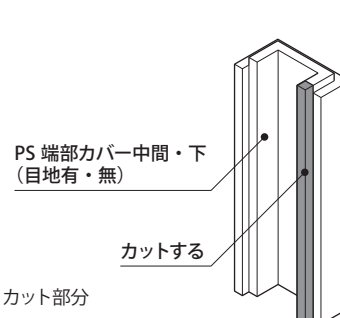
(PS端部カバー上 (目地有・無))



カット後



(PS端部カバー中間・下 (目地有・無))



■ カット部分

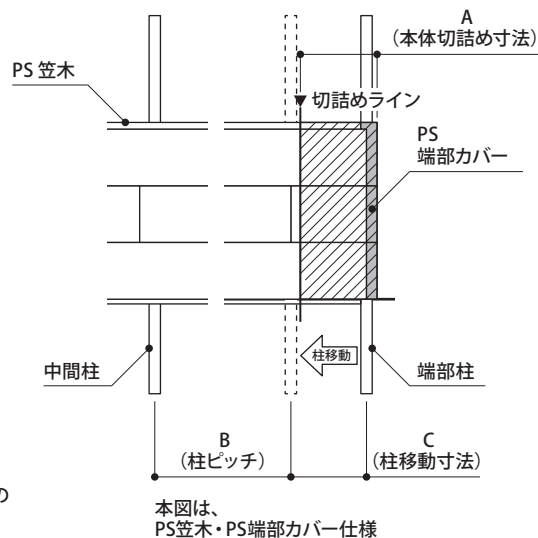
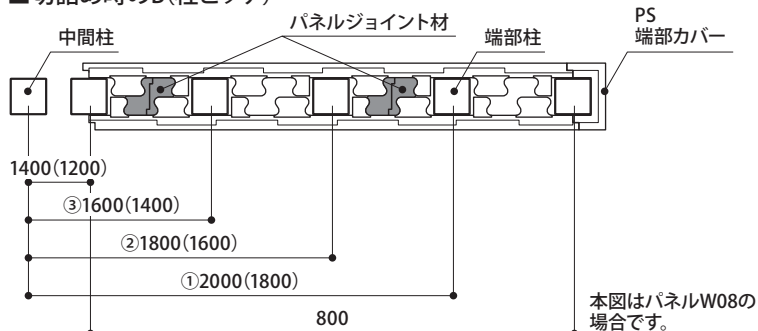
5.本体現場切詰め（フリー）〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.柱位置の変更

●切詰め寸法により柱の位置が変わります。下記参照にて柱の位置を移動させてください。

A(本体切詰め寸法)	B(柱ピッチ)	C(柱移動寸法)
32.5~179 mm以下	①2000(1800) mm	0 mm
180~379 mm	②1800(1600) mm	200 mm
380~579 mm	③1600(1400) mm	400 mm
580~779 mm	1400(1200) mm	600 mm

■切詰め時のB(柱ピッチ)



ご注意

●パネル形状の関係で0~32.5mmの切詰めは出来ません。

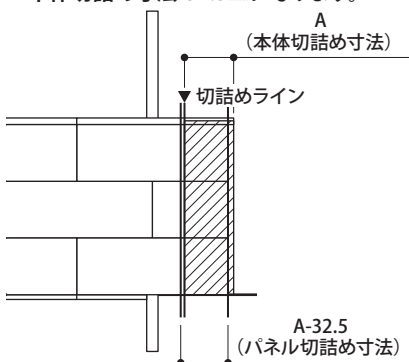
2.部品・部材の加工

1.パネル（W04・W08）の切詰め

■パネル切詰め寸法の算出

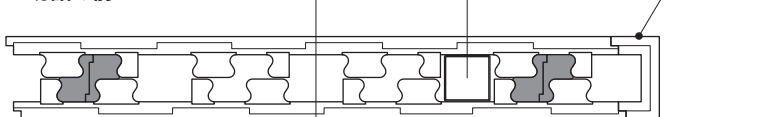
本体切詰め寸法	パネル切詰め寸法
A	A-32.5

※パネルの切詰め寸法は
本体切詰め寸法-32.5mmになります。

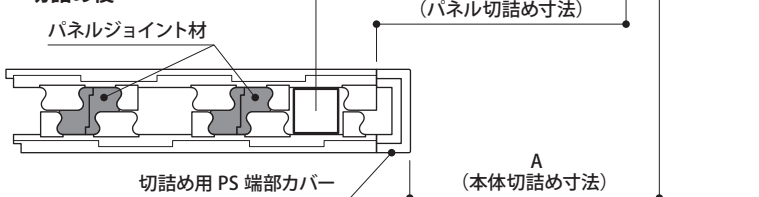


パネル切詰め前後納まり図

●切詰め前



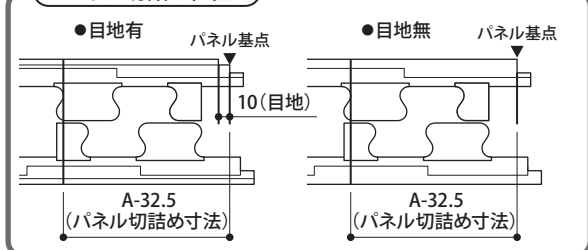
●切詰め後



①パネル(W04・W08)の切詰寸法の位置出し

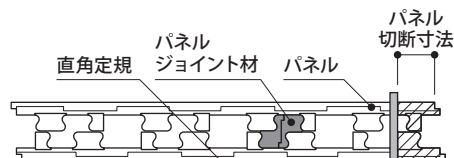
パネル基点を基準にしてパネル切詰め位置を決めて下さい。

パネル切詰め位置



②パネルのマーキング

パネルをカットする場合、パネルを組んだ状態で下図のように切断位置を表裏に直角定規等でマーキングしてください。



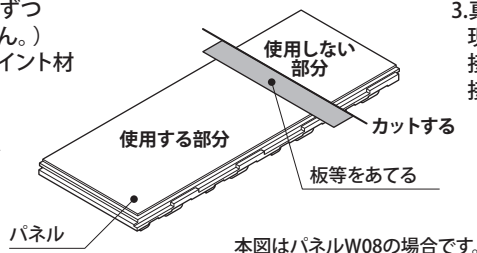
5.本現場切詰め(フリー)〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

●パネルの切詰め方法

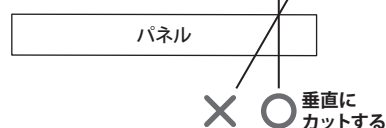
1.パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつ切断してください。(上からは抜けません。)
(切断する時は傷防止の為、パネルジョイント材が入っていた方を下にして加工してください。)

2.上記にて寸法を出して野書き線を引き、板等をあてて目の細かいのこぎり等でカットしてください。

※パネルジョイント材を組み付けた際、両パネルのカット面に段差が出ないように切断してください。



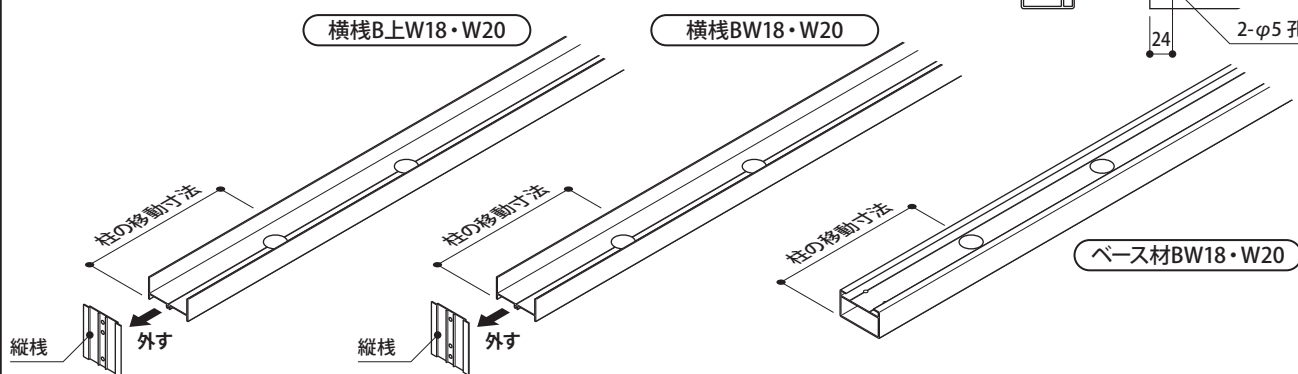
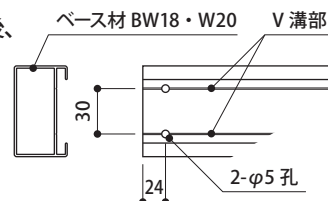
3.真っ直ぐ垂直にカットしてください。
現場仕上用の場合、端部カバーとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。



2.横棧B上(W18・W20)・横棧B(W18・W20)・ベース材B(W18・W20)の切詰め

①横棧B(W18・W20)と横棧B上(W18・W20)は縦棧を外してカットしてください。カット後、同じ向きでタッピングホールにネジ止めになります。

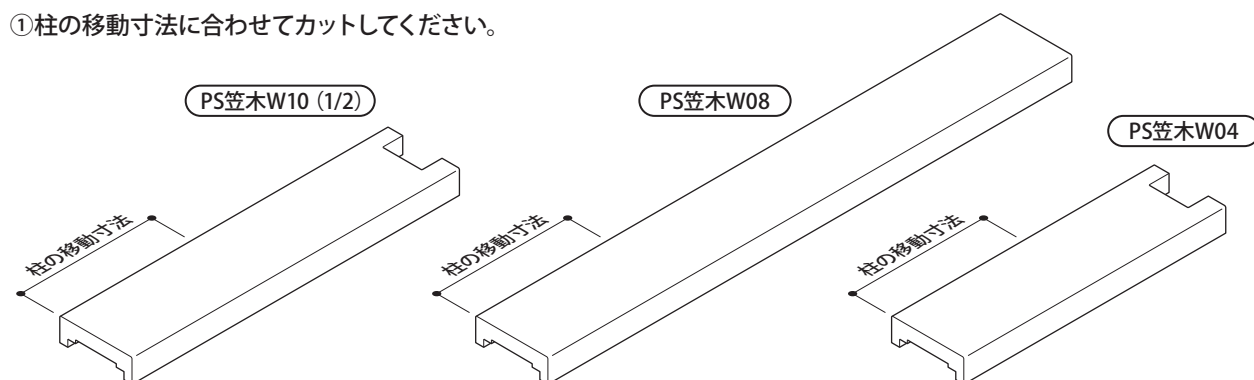
②ベース材B(W18・W20)はカット後、端部から24mmのところをV溝部2ヶ所にφ5孔加工してください。



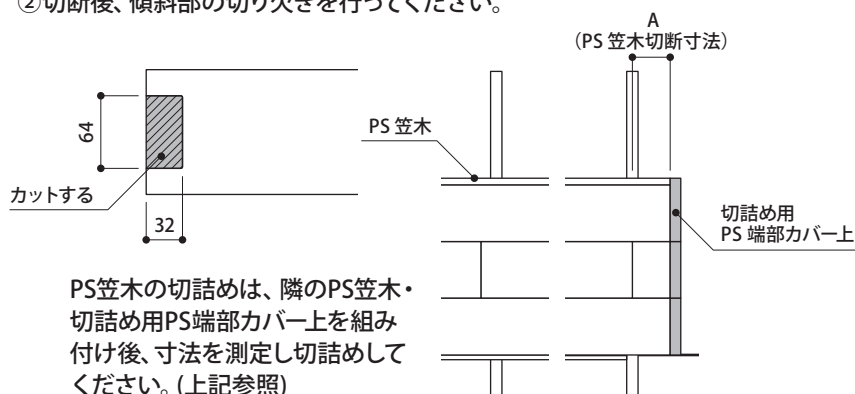
※横棧B、横棧B上、ベース材BのW08・W10も切り詰め方法は同じです。

3.PS笠木(W04・W08・W10)の切詰め

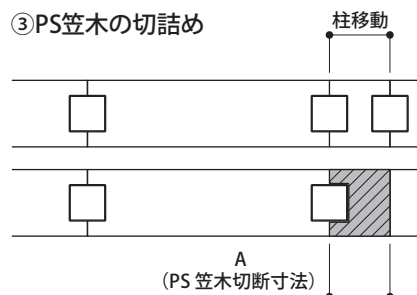
①柱の移動寸法に合わせてカットしてください。



②切断後、傾斜部の切り欠きを行ってください。



③PS笠木の切詰め



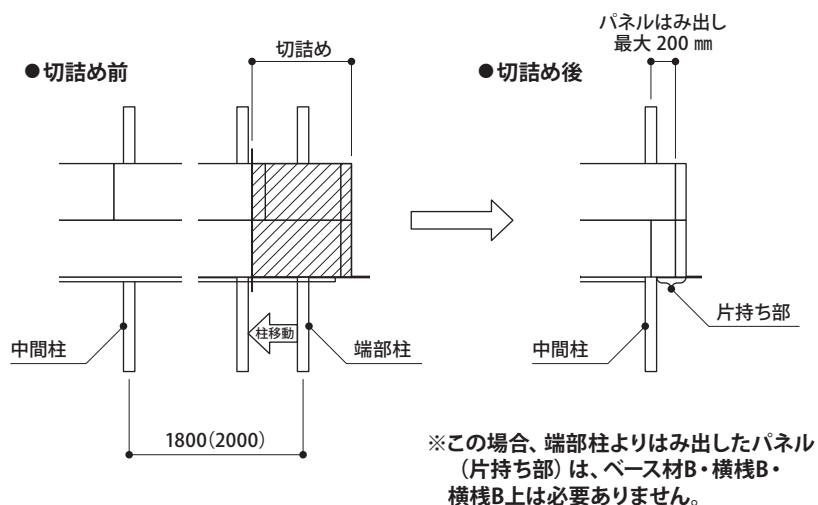
上図のように切詰めしたPS笠木は、片持ち側のパネルに使用してください。

5.本現場切詰め（フリー）〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

3.フリー切詰め部本体の組付

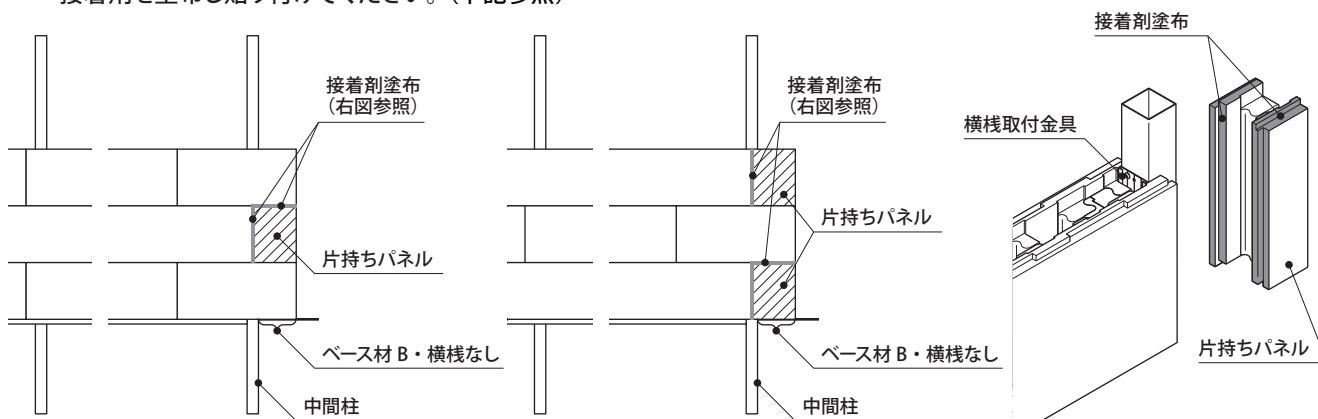
●切詰め寸法により組み付けが異なります。下の図を参照に柱建込み（ベース材Bの組付）後、パネルを組み付けてください。

加工したパネル・部材を通常と同じように組み付けてください。（P.30参照）



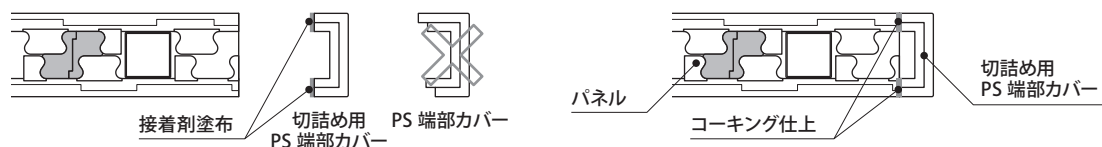
①片持ちパネルの組付

ベース材B・横棧Bに固定されていない片持ちパネル（斜線部）は、他のパネルと接する側面及び上面に、接着剤を塗布し貼り付けてください。（下記参照）



②切詰め用端部カバー上及び、切詰め用端部カバー中間・下の取付

切詰め用端部カバー上及び、切詰め用端部カバー中間・下の接合部に接着剤を塗布し、切詰めしたパネルに貼り付けて下さい。



③PS笠木の取付

PS笠木に接着剤を塗布し、切詰めしたパネルに貼り付けてください。

④目地テープの貼付け〈現場塗装仕上用の場合〉

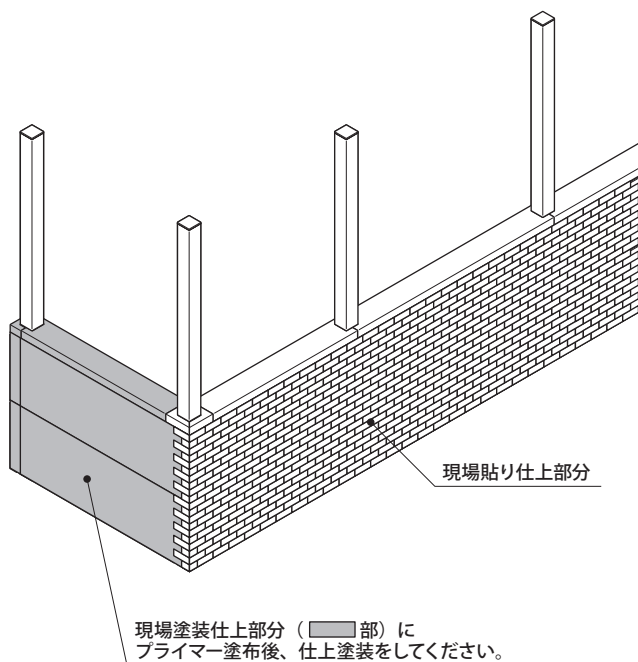
●目地無の場合

通常と同じように、パネルとPS端部カバーの接合部に目地テープを貼ってください。（P.29参照）

●パネルと端部カバーの接合部に隙間や段差がある場合

目地テープ貼り付け後、コーキング（変成シリコン系ノンブリードタイプ）にて隙間・段差をなくしてください。（P.29参照）

6.部分的に塗装仕上をする場合〈現場貼り仕上用〉



部材名	梱包名称
プライマー	プライマー (100ml) ・刷毛セット
	プライマーセット (1Kg)
	プライマーセット (10Kg)

ご注意

現場貼り仕上用にて部分的に塗装仕上げをする場合、当社規格のプライマーの塗布が必要です。当社プライマー塗布後、仕上塗装をしてください。そのまま塗装したり、当社以外のプライマーを使用しないでください。剥離の原因になります。

- 付属のプライマー100mlで約0.72㎡塗布できます。(小口面 (30mm) だと約24m塗布できます。)
- プライマー1kgで約5～7.5㎡塗布できます。塗装する面積に応じてプライマーセット (100ml・1kg・10kg) から選択してください。
- 1kg・10kgのプライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

7.注意事項〈現場貼り仕上用〉

- 本仕様では、55kg/㎡以下の重量まで貼り付けできます。
- 上記重量以上の石材・タイル等の貼り付けはしないでください。
- 石材・タイル・ボード等の貼り付け方法は、それぞれの商品の取付説明書を参照してください。
- 石材・タイル・ボード等を貼り付ける接着剤は、石材・タイル用接着剤を使用してください。
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro・ニッタイ工業社 EY-21
有機溶剤が含まれていない接着剤を使用してください。
- 接着剤は全面接着で貼り付けてください。
- 接着剤が硬化する前に石材等の貼り材を貼り付けてください。
(接着剤の塗布量・硬化時間は接着剤の取付説明書を参照してください。)
- 笠木の貼付け
市販の笠木を貼り付ける場合、石材・タイル等の貼り付け後の寸法に合わせ笠木を選択してください。
笠木の厚さは25mm以下にしてください。

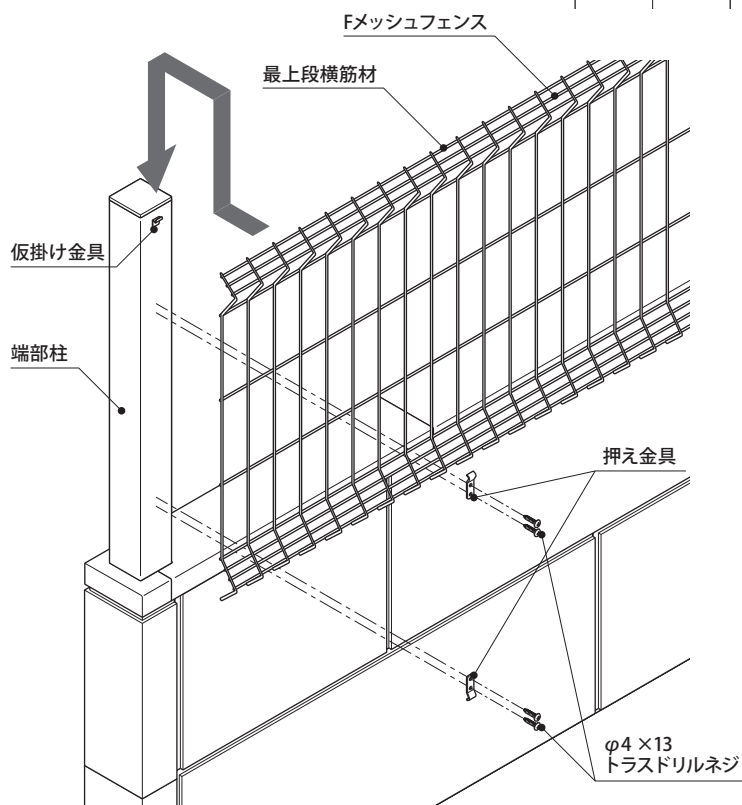
8.Fメッシュフェンスの取付〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.Fメッシュフェンス本体の取付

- ①端部柱（中間柱）に仮掛け金具をφ4×13トラスドリルネジで取り付けます。
 ※1 張り出し寸法によって、柱取り付け左右位置が異なります。
 ※2 φ4×13ドリルネジ取り付けの際は、下孔（φ3.2～3.4）をあけてください。

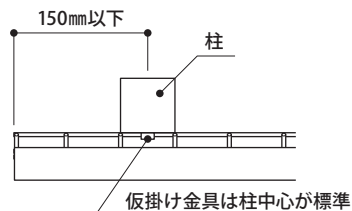
- ②端部柱の仮掛け金具に、Fメッシュフェンス本体の最上段横筋材を引掛けます。
 ※中間柱の金具が縦筋と干渉しないか位置を確認してください。

- ③押え金具とφ4×13トラスドリルネジで、Fメッシュフェンス本体の上下カール内側の横筋材を柱に取り付けます。

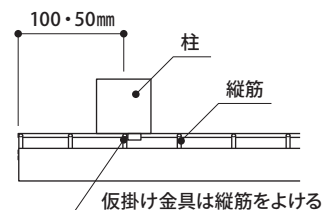


ご注意

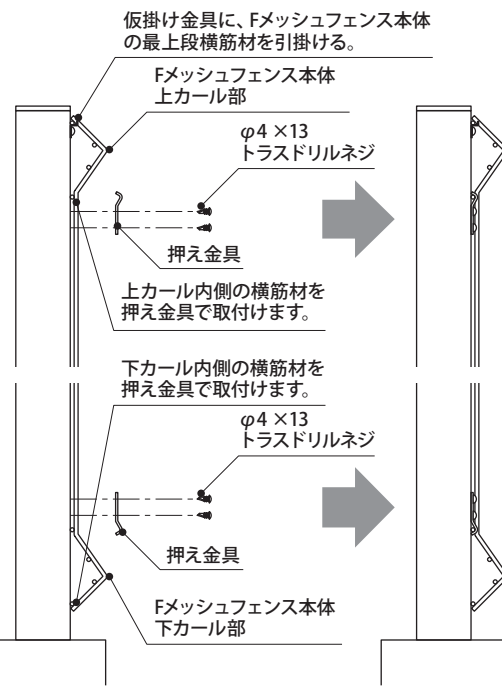
〈張り出し寸法150mm以下の場合〉



〈張り出し寸法100・50mmの場合〉

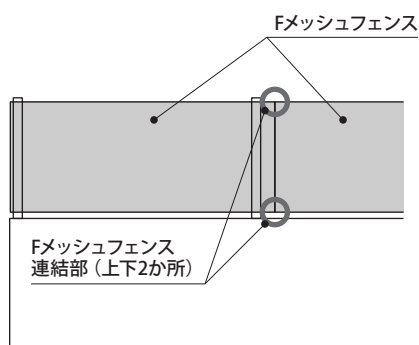


横筋材の取付



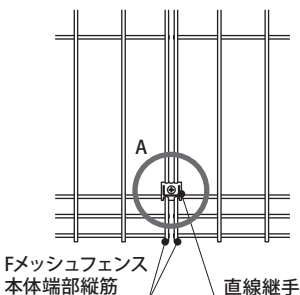
2.Fメッシュフェンス本体の連結（直線継手の取付）

- ①Fメッシュフェンス本体の上下カール部（2ヶ所）に直線継手（金具）を取り付けます。
 Fメッシュフェンス本体端部の縦筋材を、直線継手で挟むようにしてφ4×12丸先トラスネジで取り付けます。

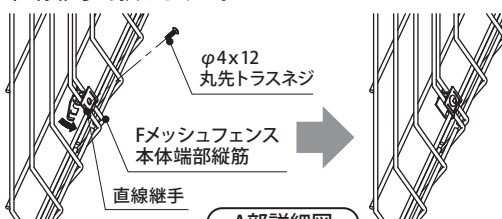


直線継手の取付

図は下のカール部ですが、取り付け内容は上下カールとも同じです。



Fメッシュフェンス本体端部の縦筋材を、直線継手で挟むように。



A部詳細図

8.Fメッシュフェンスの取付〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

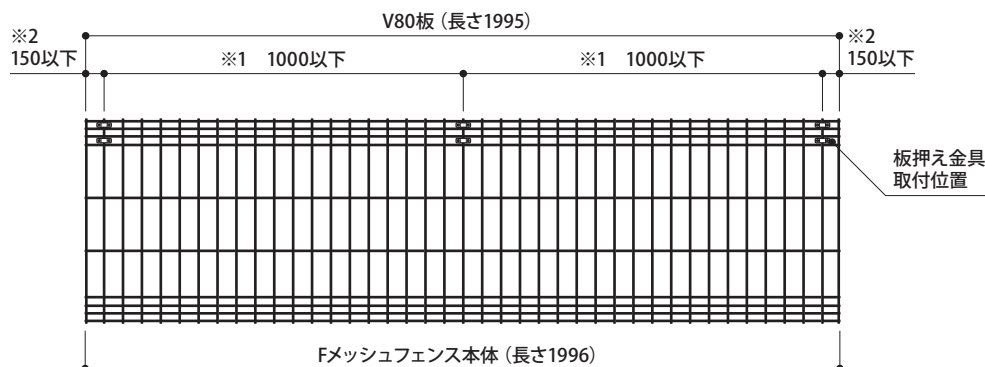
3. V80板の取付

①板押え金具とφ3.5×10トラスタッピングネジで、Fメッシュフェンス本体にV80板を取り付けます。

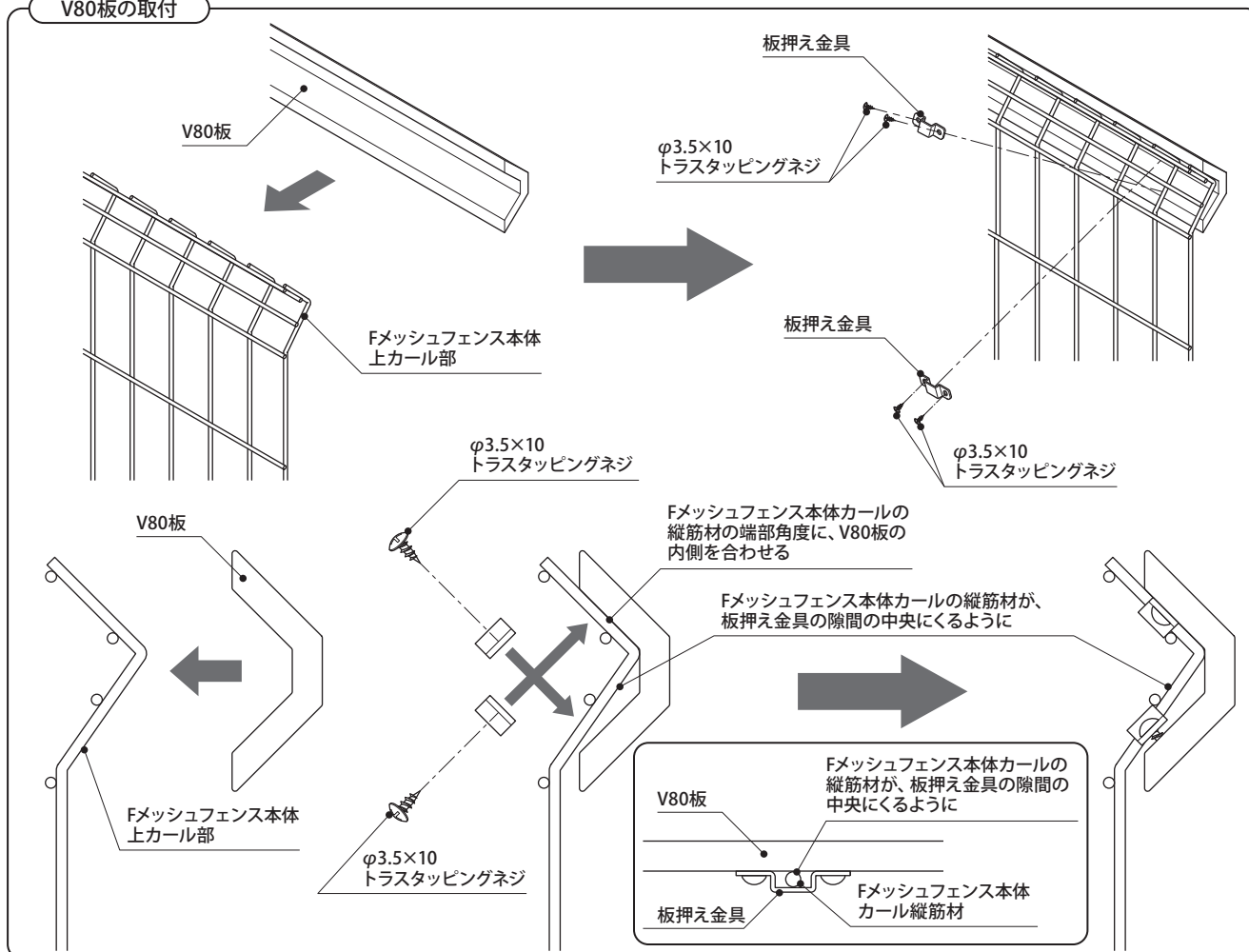
※1 Fメッシュフェンス本体とV80板の取り付けピッチは1000mm以下としてください。

※2 Fメッシュフェンス本体とV80板の端部取り付け寸法は150mm以下としてください。

※3 Fメッシュフェンス本体カールの横筋材を、上下に挟むように板押え金具を取り付けしてください。



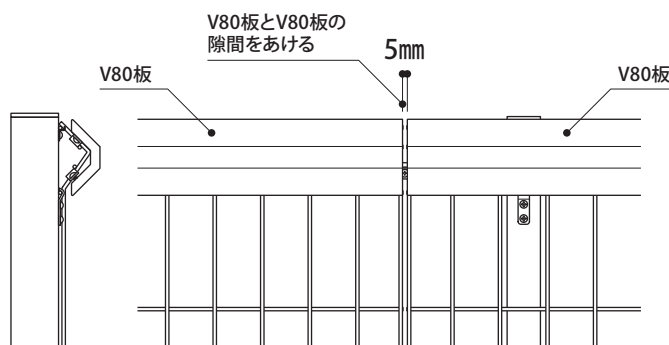
V80板の取付



②V80板とV80の連結部には、隙間を5mmあけてください。

ご注意

- 晴天や曇天、季節による外気温の変化により、樹脂製板材は中央を基点に伸縮します。
- 板と板の隙間をあげないと、伸縮により板の反り曲がりの原因となります。

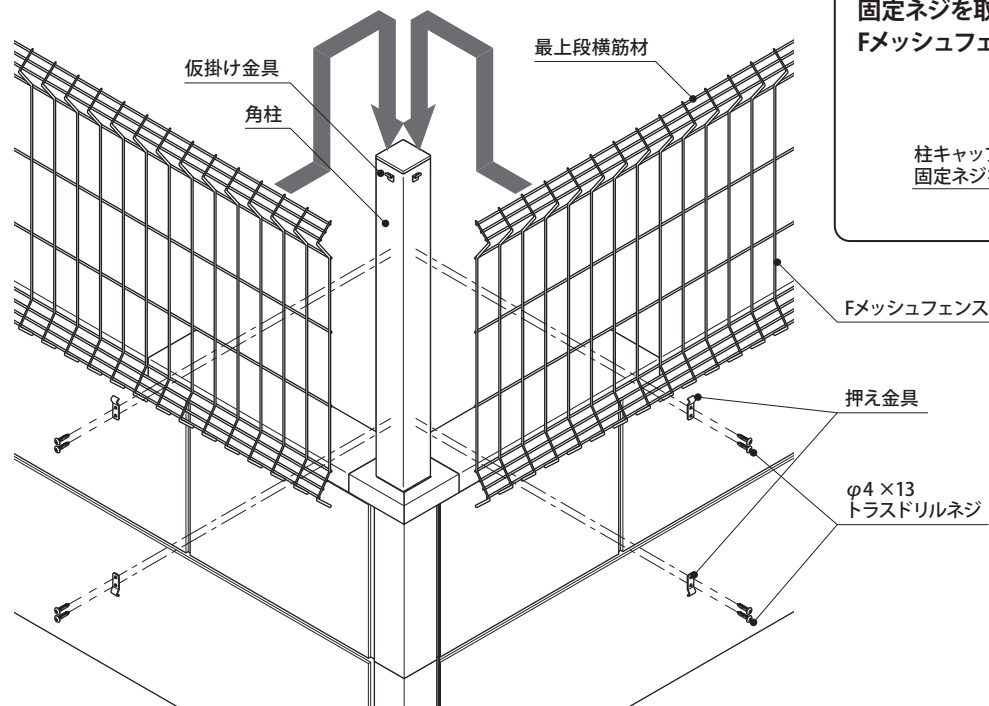


9.Fメッシュフェンスコーナー部の取付〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ①角柱も端部柱（中間柱）と同様の取り付けになります。
（P.36参照）

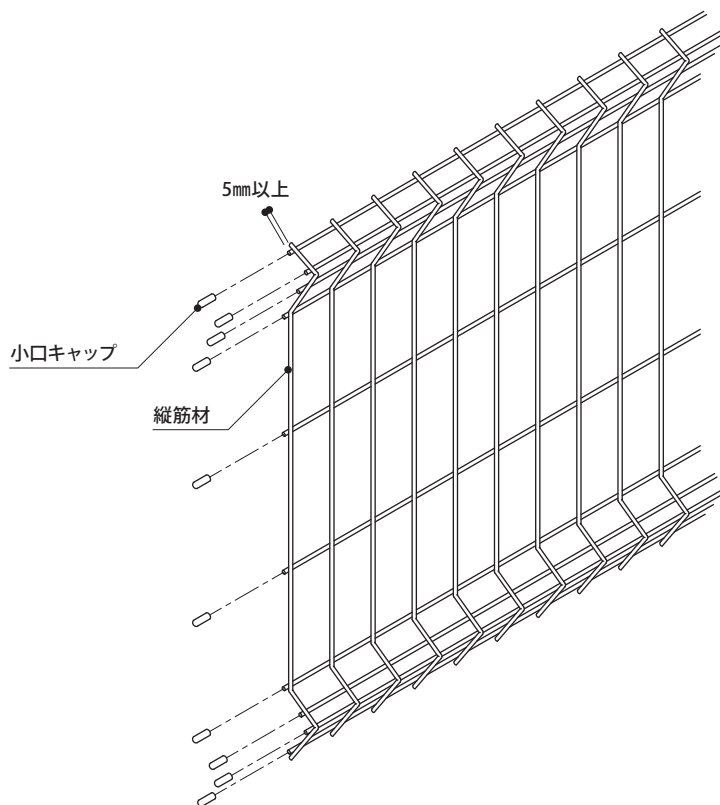
ご注意

スライド固定の場合、柱キャップ固定ネジがあるため（片方のみ）Fメッシュフェンスの横筋材と干渉します。
固定ネジを取り外してから、仮掛け金具とFメッシュフェンスを取り付けてください。



10.Fメッシュフェンスの切詰め〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ①Fメッシュフェンス本体を途中で切断する場合は、縦筋材より5mm以上残して切断し、小口キャップを取り付けしてください。



EXIS 株式会社 **エクシス**